

継ぎの接ぎのの

死神

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

継ぎの接ぎのの

死神

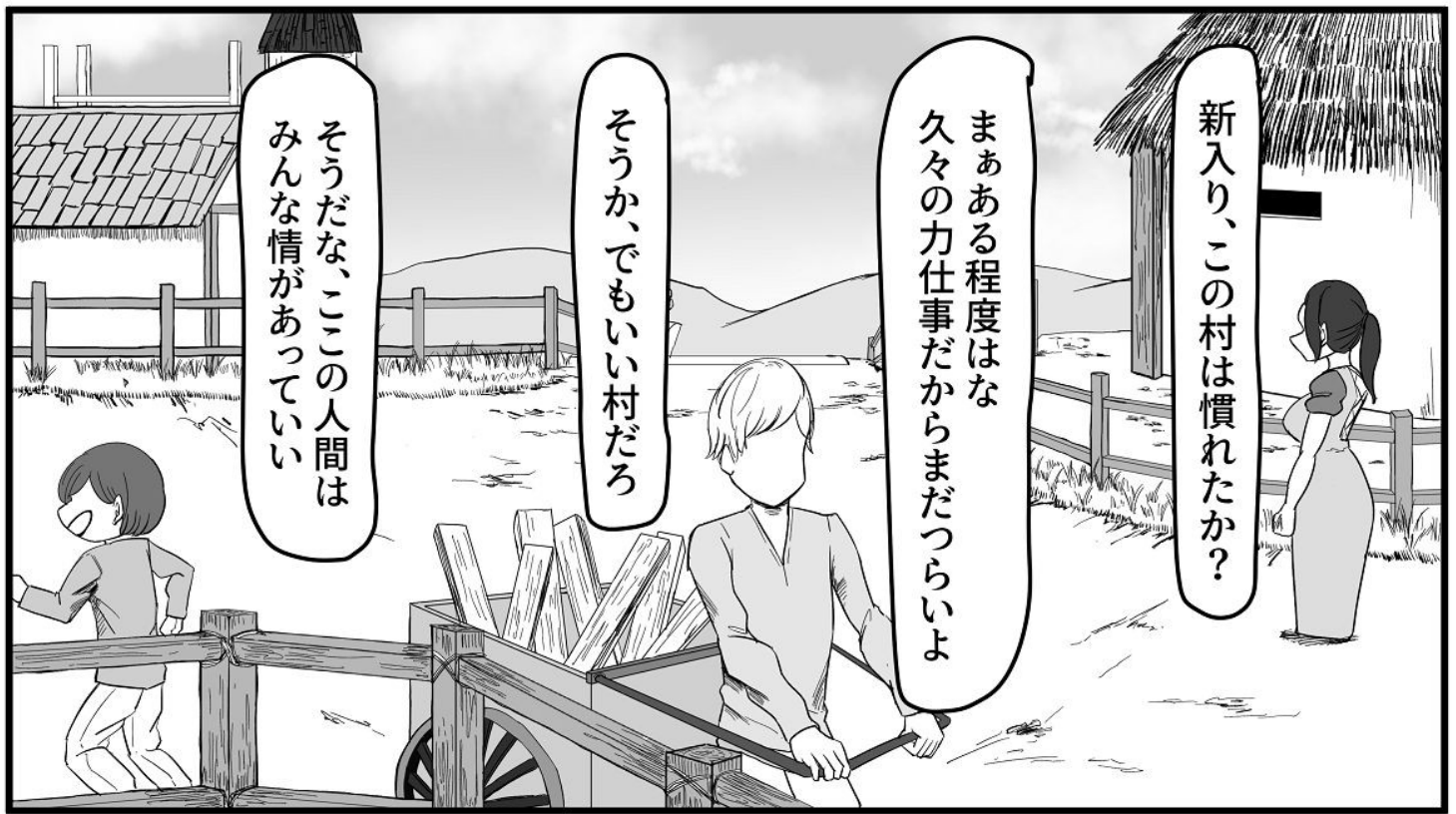
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



エルフが栄えていた遠い昔――

エルフの女王を守る
最強の矛と盾をその身一つで成す
偉大な英雄が存在した

その身体には
神が宿っていた



新入り、この村は慣れたか？

まあある程度はな
久々の力仕事だからまだつらいよ

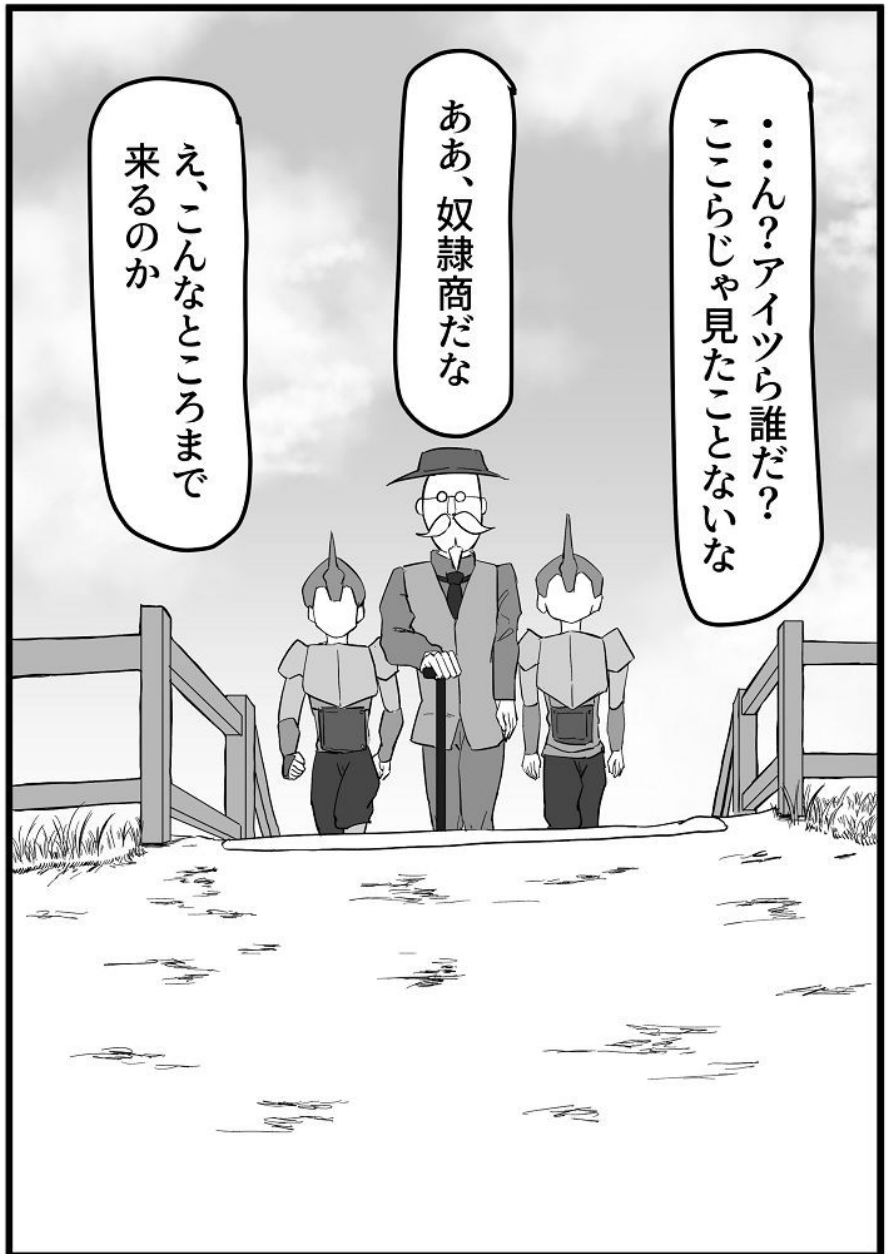
そうか、でもいい村だろ

そうだな、ここ人間は
みんな情があつていい



売れずに捨てる
と犯罪の温床
になっちゃうからな

へえ……



……ん？アイツら誰だ？
ここらじゃ見たことないな

ああ、奴隷商だな

え、こんなところまで
来るのか



ただここに来る奴隷は
いかせん質が悪い

村の奴らもそれを理解してるから
誰も買ったがらない

全くはた迷惑な連中だよ

ここに来る連中は
基本的に街での売れ残りだから
素行の悪い奴らが多いんだ

ゆえに安い
リスクが高い

素行が悪い奴隷は
盗みを働いて逃亡するが
結局捕まるケースが多い

そして再び奴隷となって
価値も下がる

いい加減国の連中は
この現状に気づけて話……

えっ

どうした新入り

おい、なんだあのエルフの奴隷！
めちやくちやエロい体してるじゃん

しかも銅貨3枚!?
おいこんなの買いだろ

やめとけ、あの奴隷は
巷じゃ有名なくらいやばいぞ

…は？
どうやばいんだよ

あいつを奴隷として買った
人間は全員死んでる



その昔、ある街に何の前触れもなく
突如と現れたのがあのエルフだったよ

エルフは街の人間に情けをかけず
次々と虐殺していった

街に国の部隊が応援に駆けつけた頃には
凄惨な光景の前にあのエルフがただ呆然と立っていた

その後、女は何故か抵抗することなく
国に連行されて処刑されることになった

しかし女が頑丈過ぎて
処刑ができなかった

国はこの女の処遇を
どうするか悩んでいた時……

いち早く目を付けたのが
悪徳な奴隷商上りの貴族だった

彼は女をもらい受けると
その場で言ったそうだと



久々の当たり引いたわ

ああっ
こりやたまらんっ



おいっ、お前がいいなら
奴隷じゃなくて愛人として
世話してやるぞっ



締まりも相当いいぞっ
やはり強い女は一味違うな



え…

どうだ？
その気になってきたか？



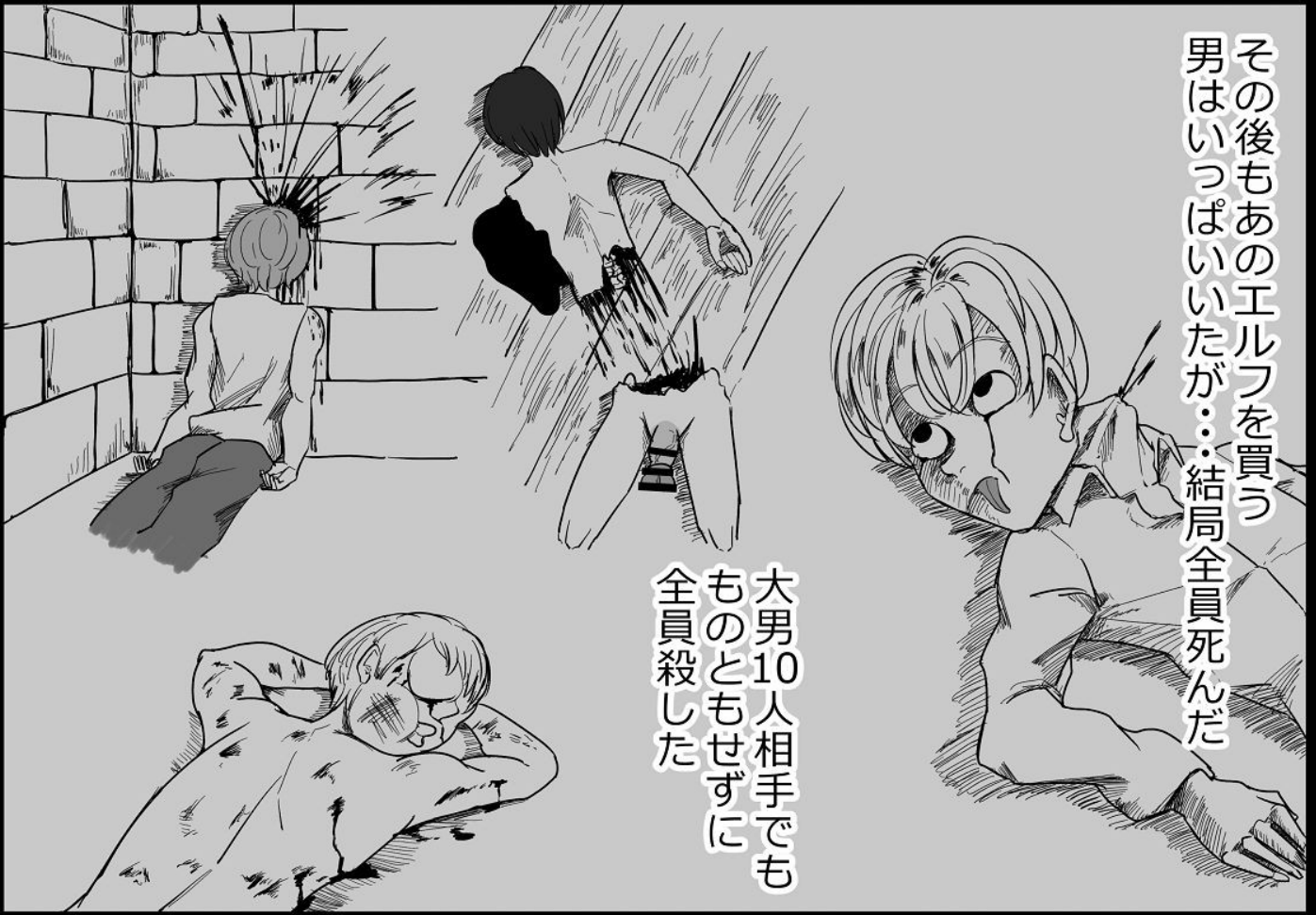
エルフの女を性奴隷として迎え入れようと企てていた男は
その願い虚しく、全身の骨を爪先バキに折られて撲殺された

そして女はまた何も抵抗せずに捕らえられ、
再び奴隷として売りに出されたんだ



その後もあのエルフを買う男はいつぱいいいたが……結局全員死んだ

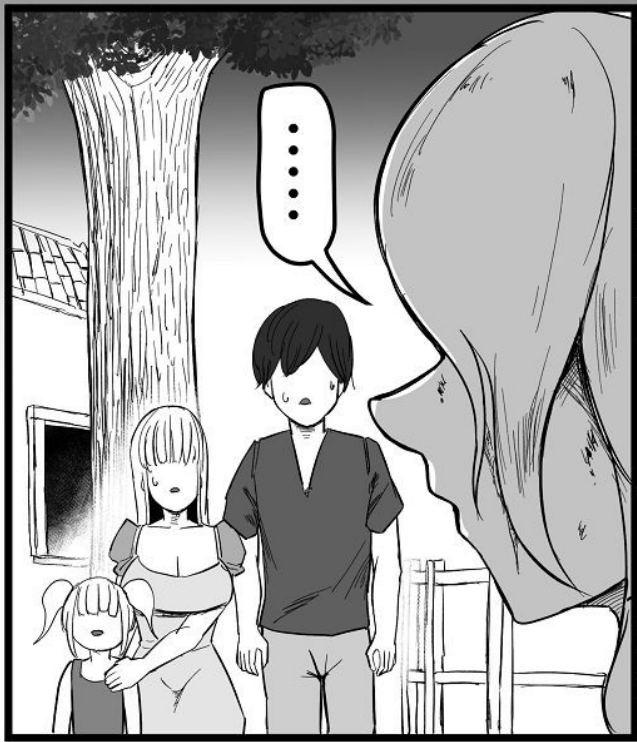
大男10人相手でも
ものともせず
に
全員殺した



奴隷として売り出される度に
その価値は下がり、「また殺した」
という認識が人々に広がっていった



全身の傷、関わったら必ず死ぬという噂から、
【継ぎ接ぎの死神】
という二つ名がつくようになった



...

だからパン3個分の価値になっても
あのエルフを買うやつはいない

あいつには手を出すな
死にたくなかったらな



へえ...
おっかねえな



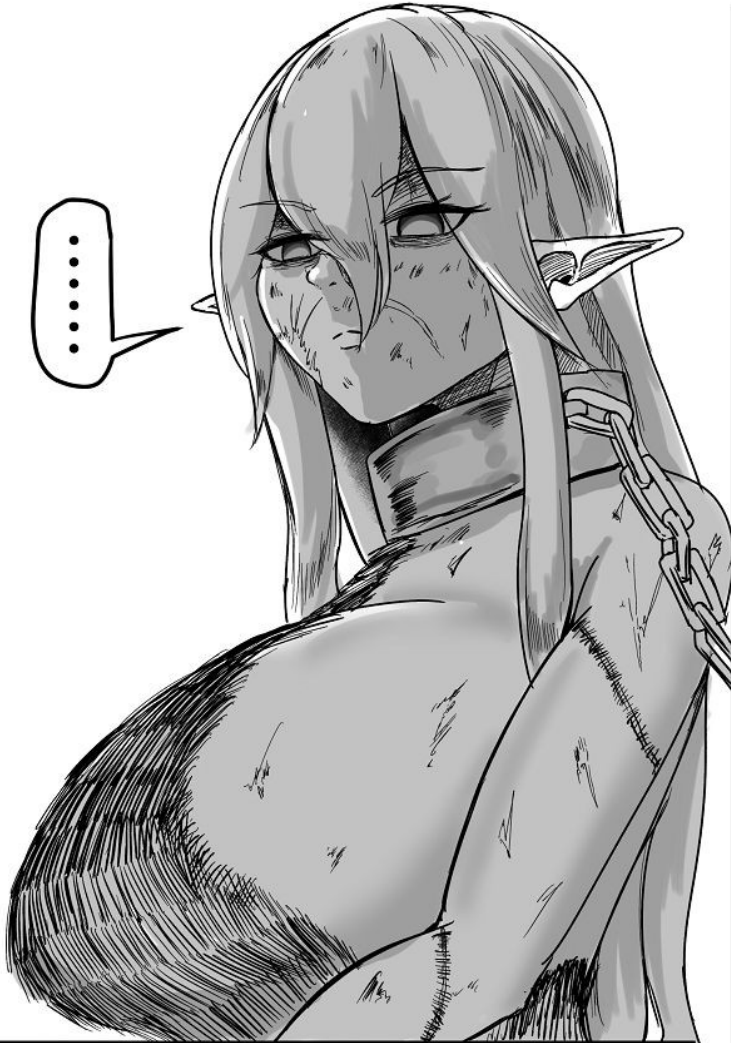
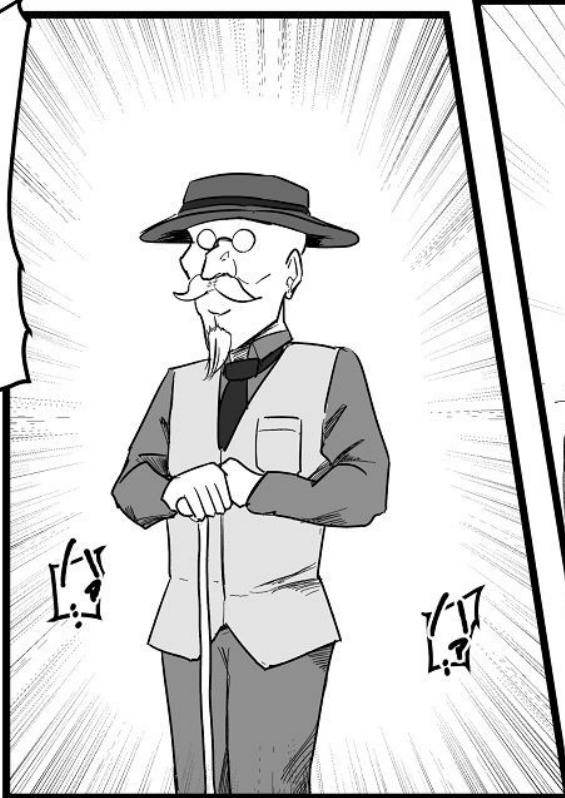
わっ

X
ツ



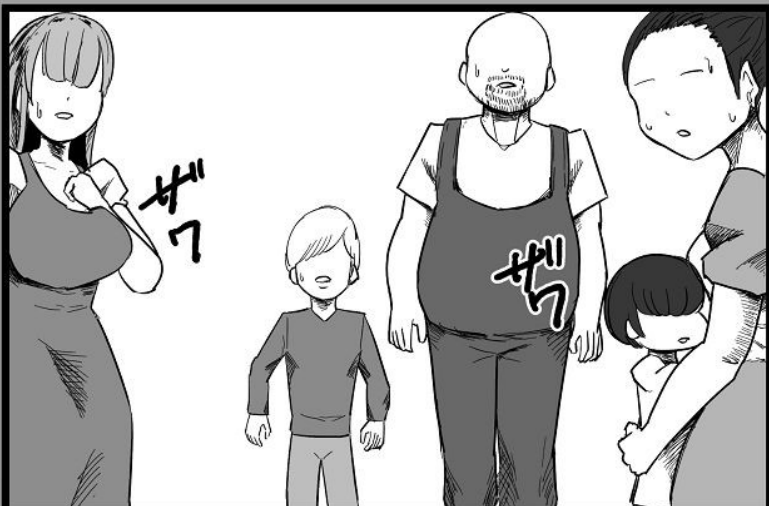
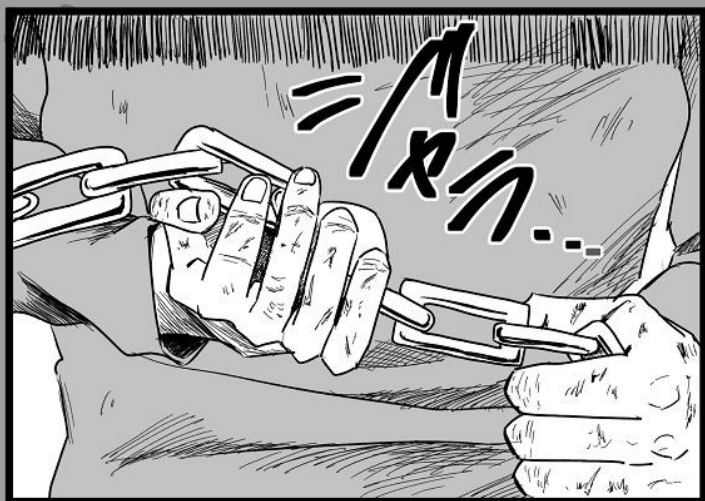


すいませーん!



.....





ああ、たまに薪を
売りに来てる子ね

あのガキは山奥の小屋に住んでた
死んだ両親の子供だったかな

うそだろ・・・
あのエルフを・・・
久々に見たぞ・・・

しかも子供じゃない
この辺ではあまり見かけないわよ

あの女に頼らなきゃいけないほど
生活に困窮してんのか・・・かわいそうに

ドキ

ドキ

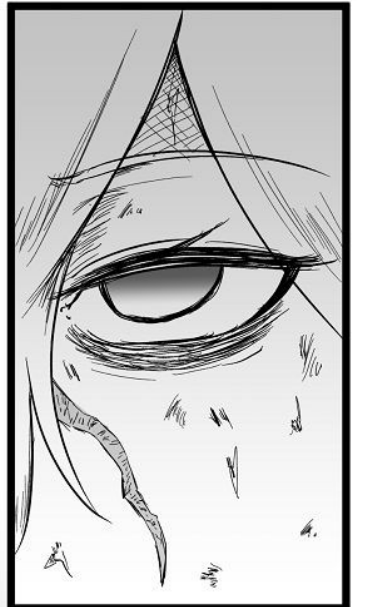
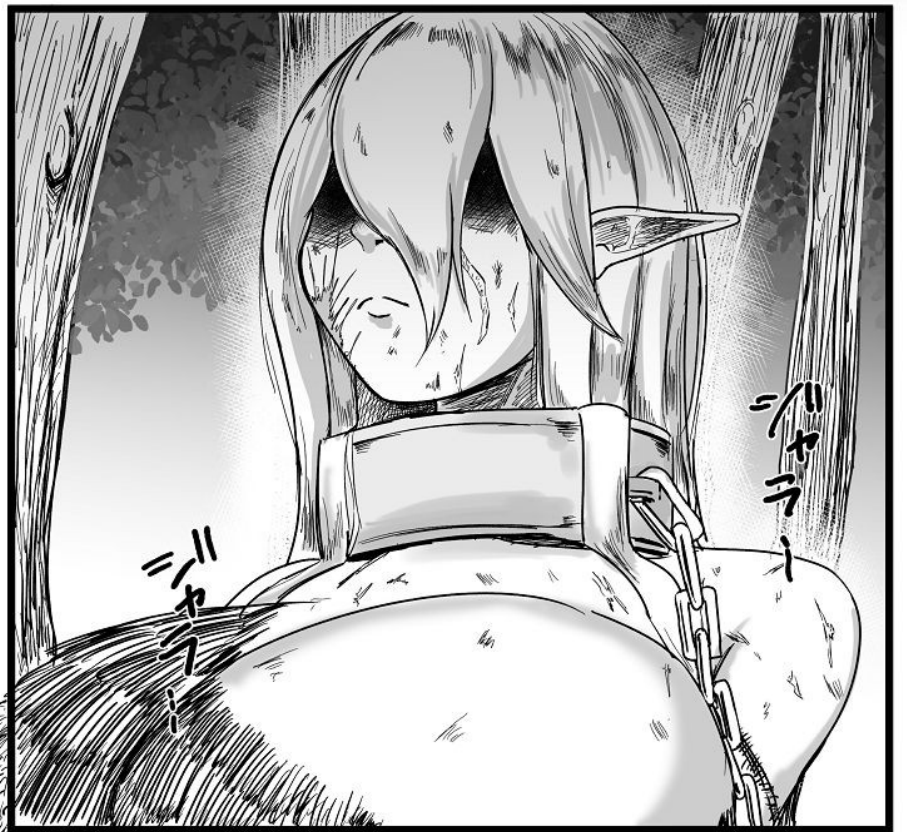
ドキ



ぼ、僕の家ここからちよつと歩くんだ
山に住んでてさ……

ご、ごめんね……

でもっ……今までの人みたいに
らっ、乱暴はしないから安心してねっ





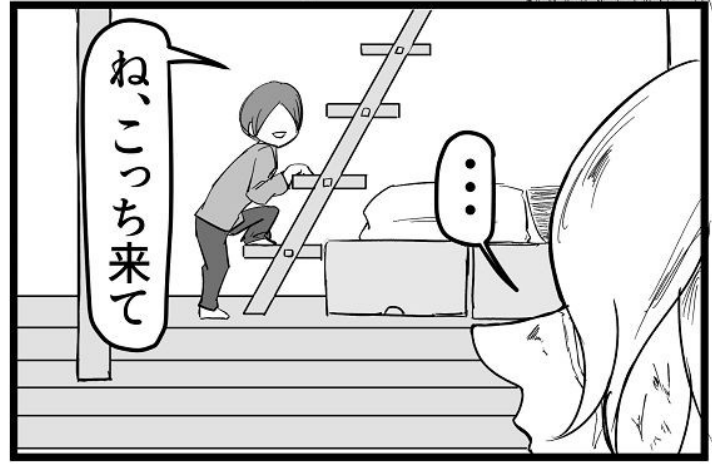
長いこと歩かせてごめんね
今日からここが君の家だよ



ふうーやっと着いたっ



寝る場所
案内するから



ね、こっち来て



あつ……この家ちよつと君には
小さすぎたかな……

ごめんね



はいっ……ここが
君の寝床っ

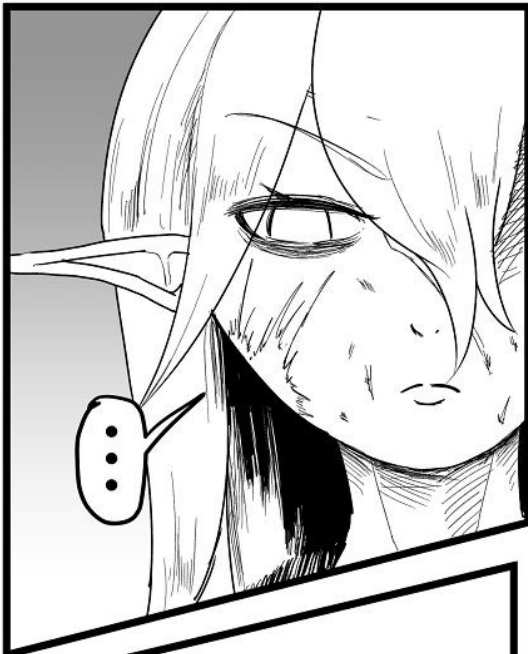
まあ、僕の隣
なんだけどね



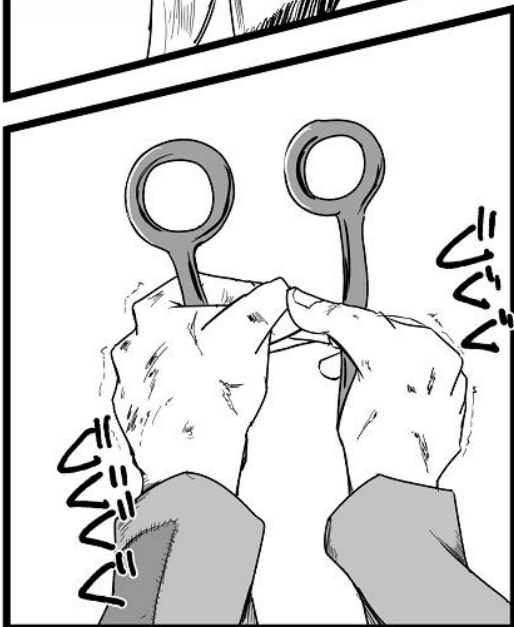
はずせそうなものあるか
探してくるね



・・・その前に
その枷はずさないとな

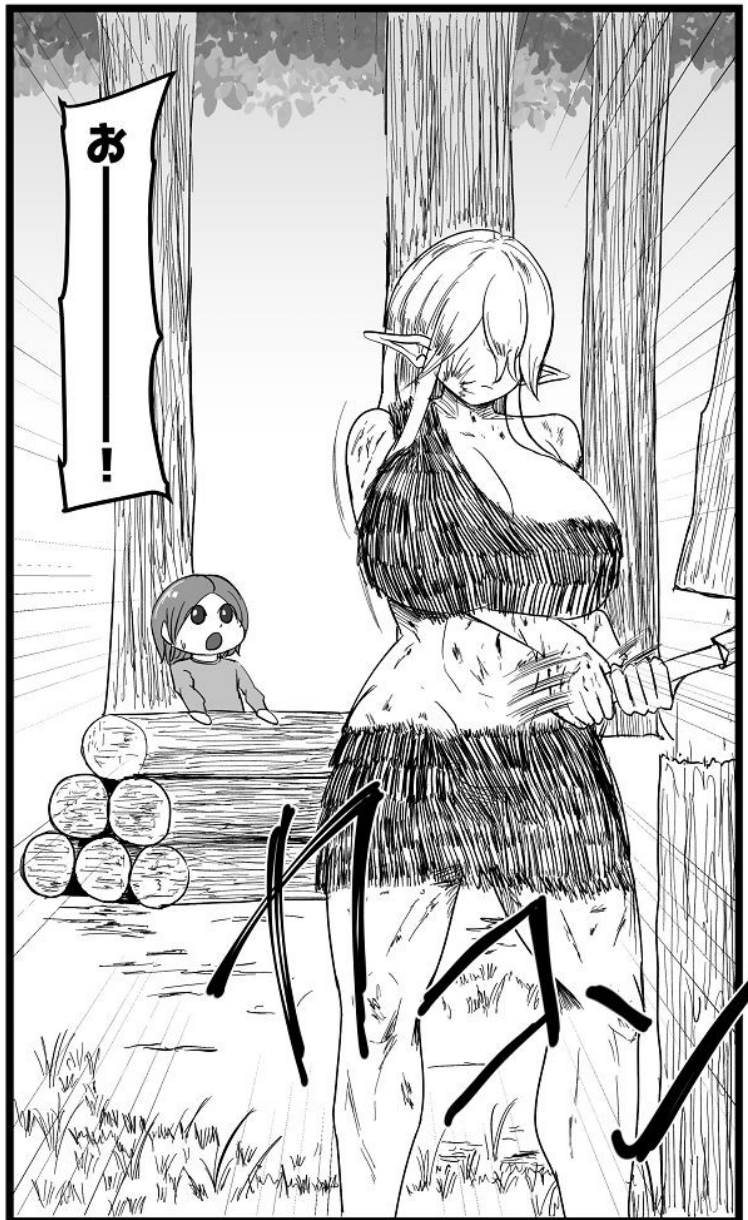
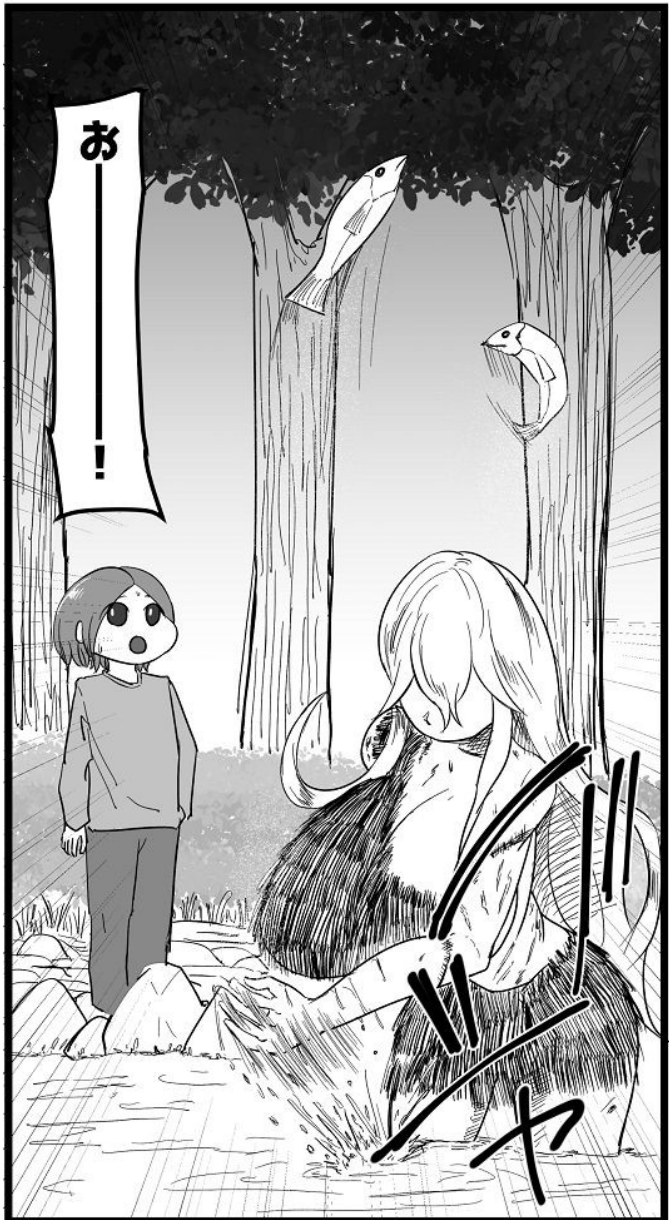
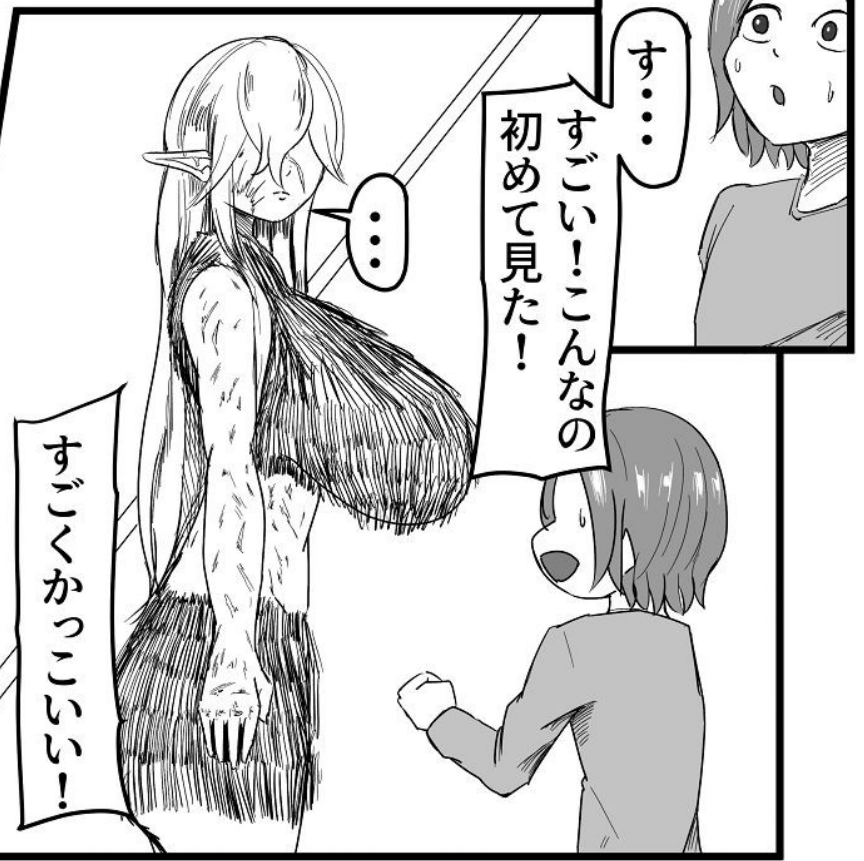


・・・だめだ
全然びくともしないや・・・



さすがにこんな
工具じゃ無理か・・・







本当にすごいよ
君を買ってよかったよ



すごい！
僕が一週間かけてとる量を
こんな一瞬でこなしちゃった！

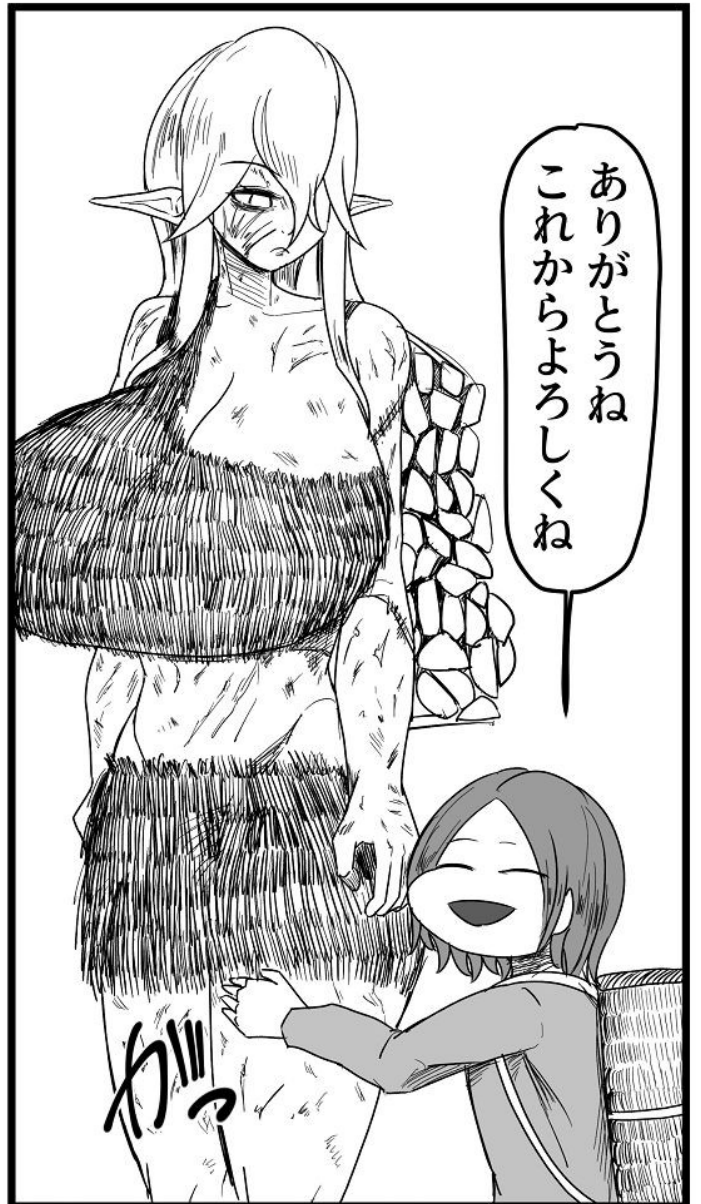


ごごめん、そういえば
お風呂はいつてなかったね

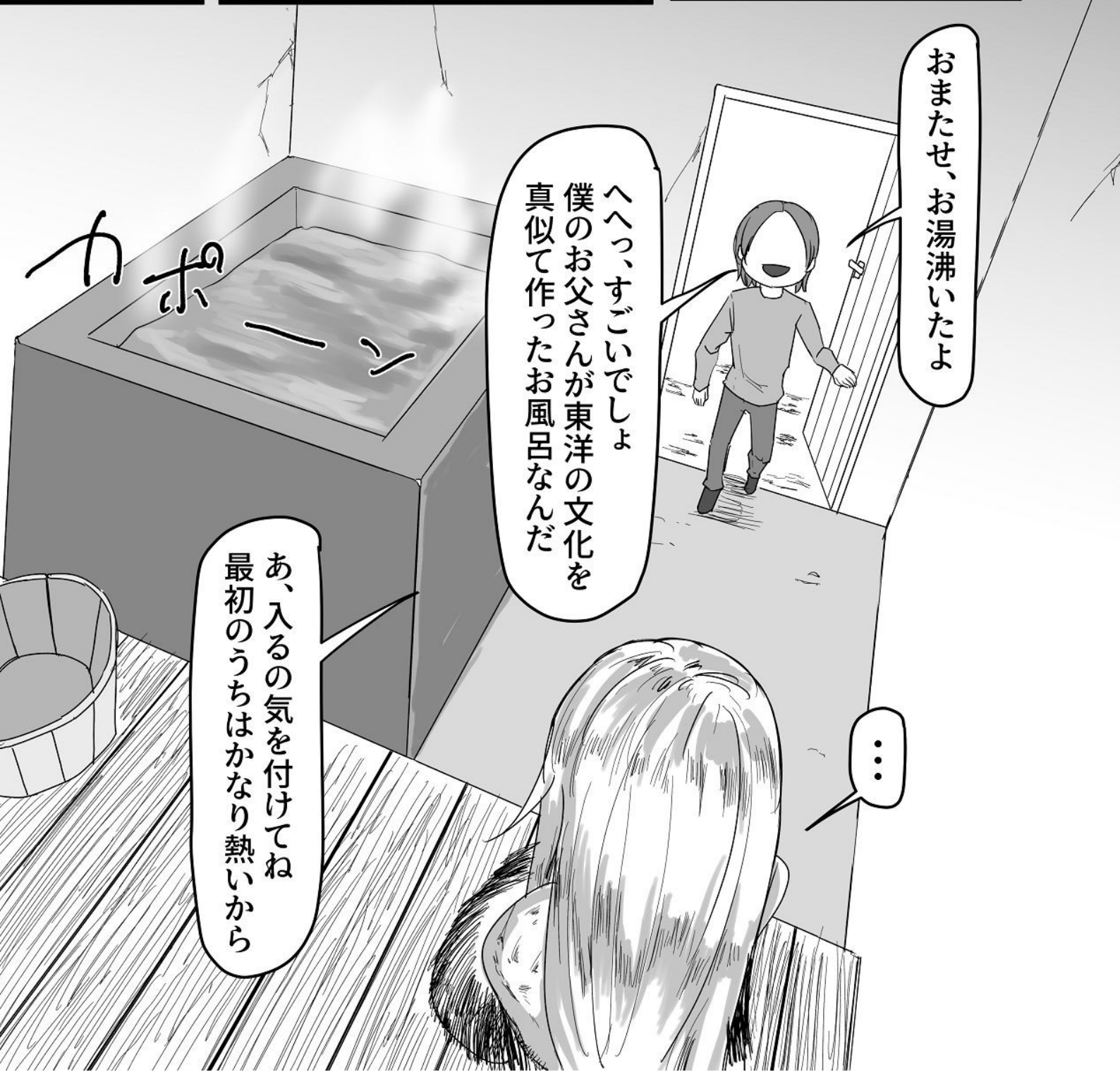
帰ってお風呂の
支度しよっか



うっ…



ありがとうね
これからよろしくね



おまたせ、お湯沸いたよ

へへっ、すごいでしょ
僕のお父さんが東洋の文化を
真似て作ったお風呂なんだ

あ、入るの気を付けてね
最初のうちはかなり熱いから

...

僕のお父さんはね
元S級の冒険者でさ

すっごく強くて
優しく……

わっ

ダッ

……え

……

あ……

ダッ

ダッ

え……

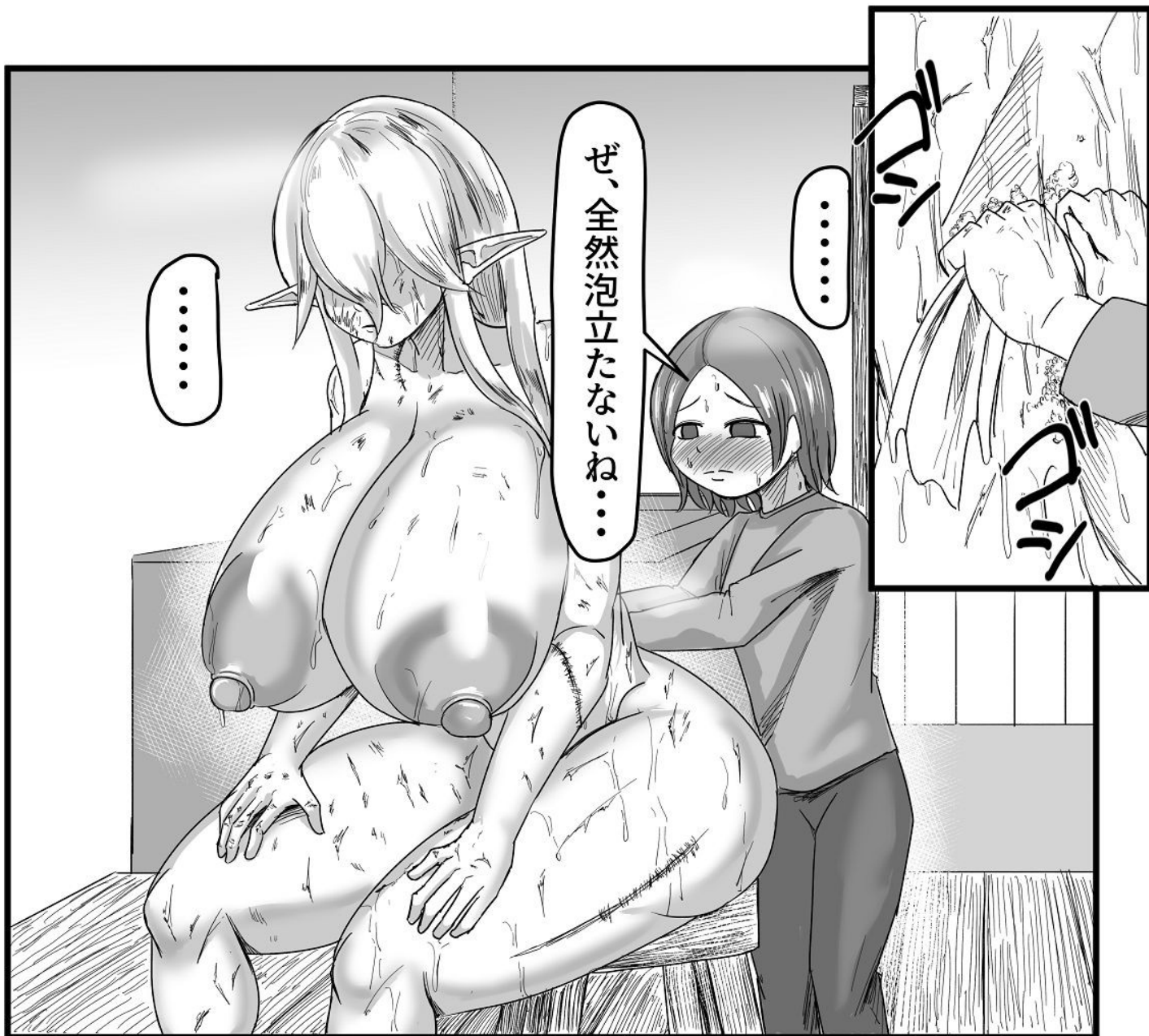
とっ

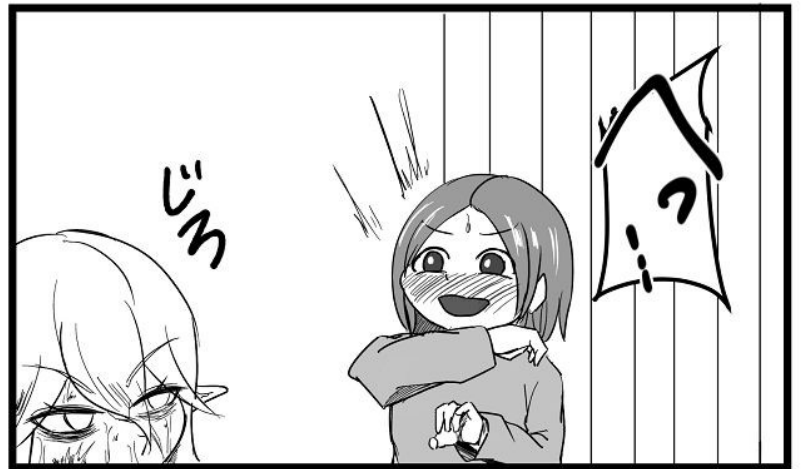
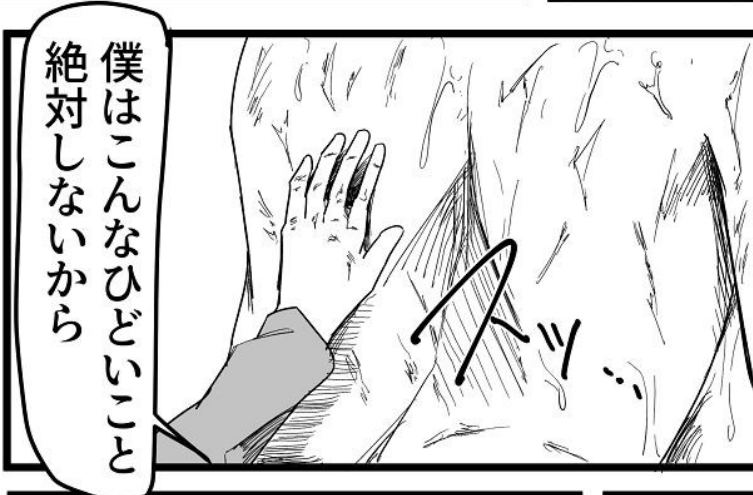
びん

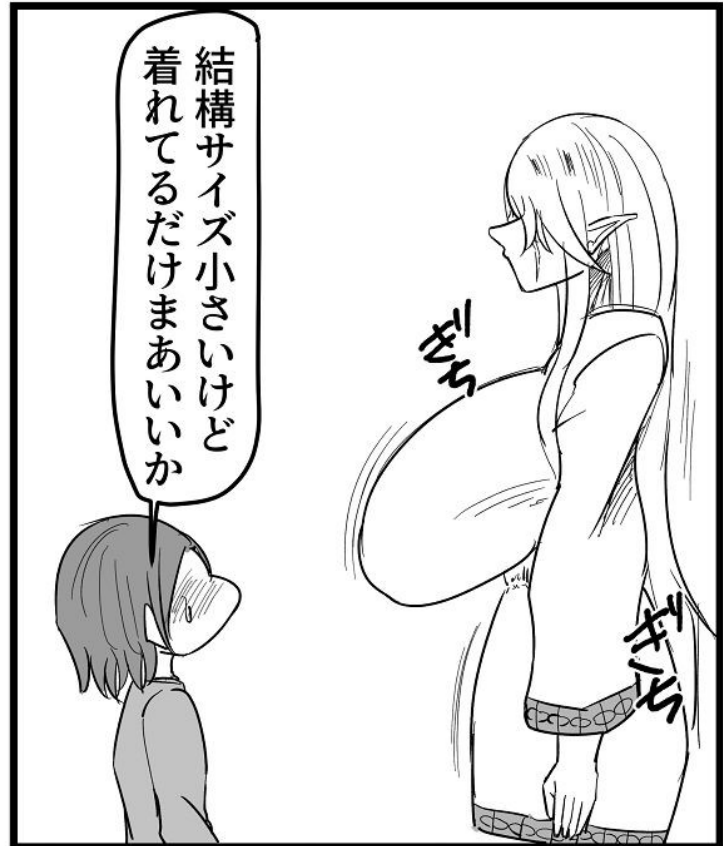
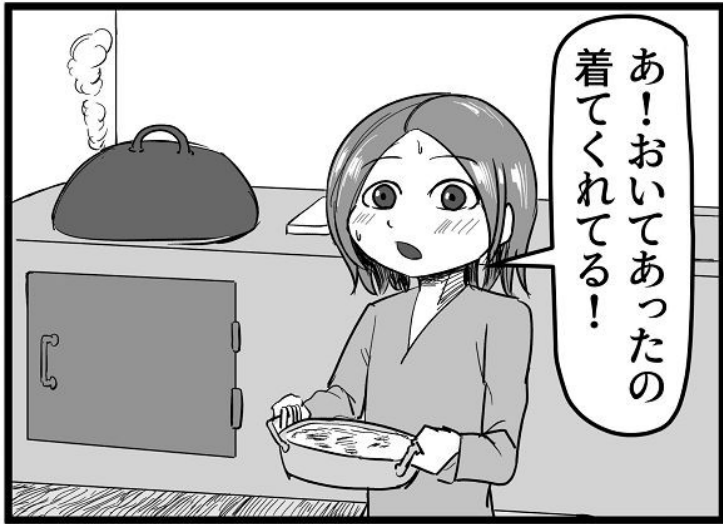
まっつ
き、急に脱がないでっ

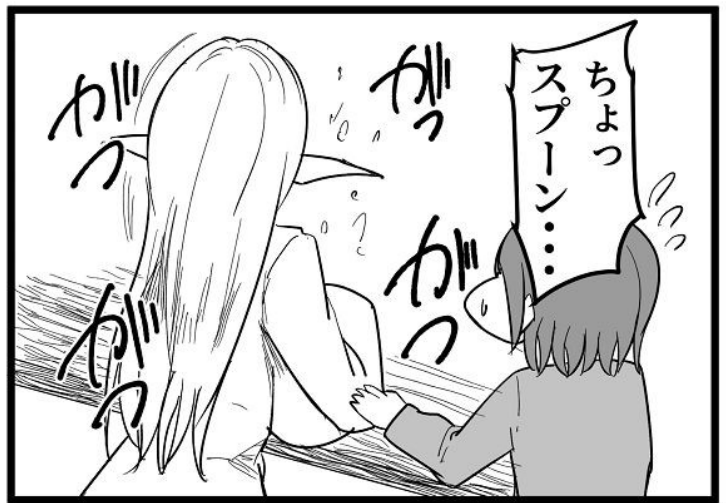
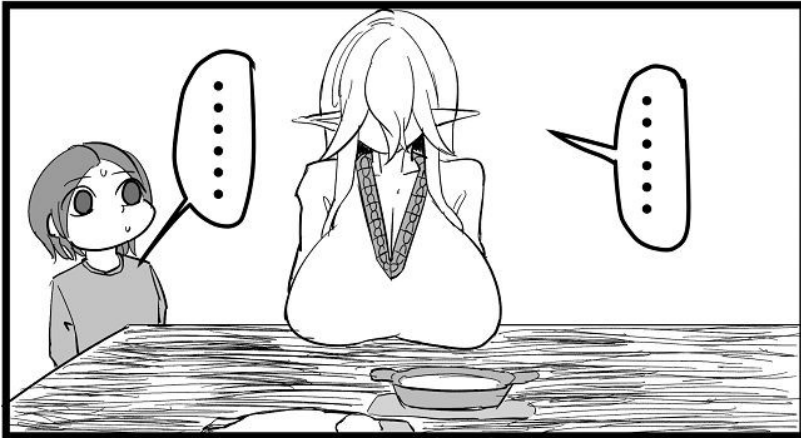
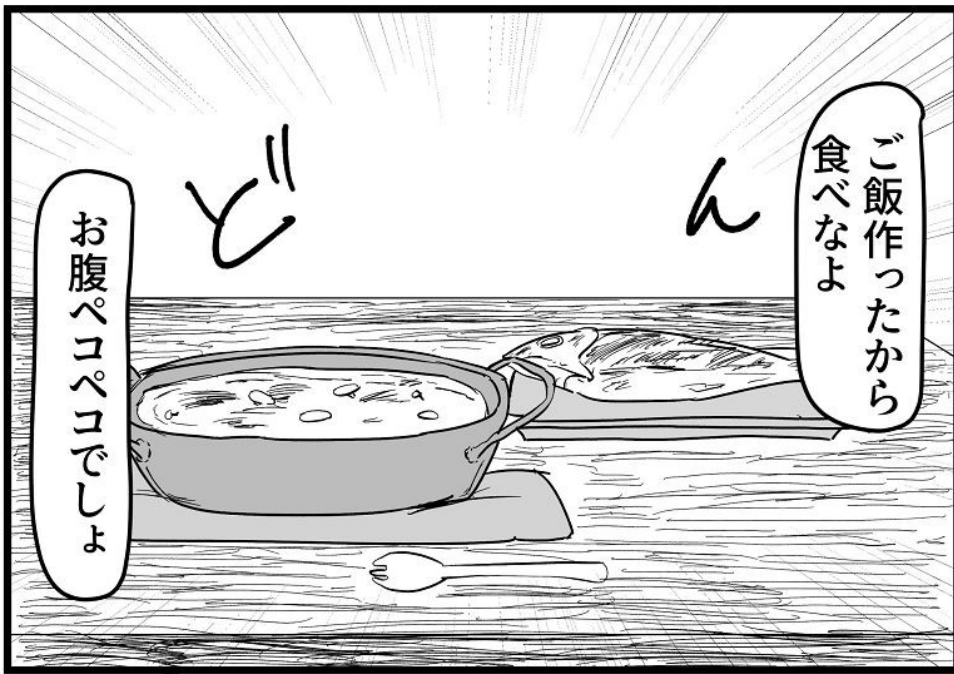
わっ、こっちに
近づいちゃダメっ

そ、そこ座って
後ろむいてっ











もう、おかわり
持ってきてくね



すごい...
もうなくなりそう

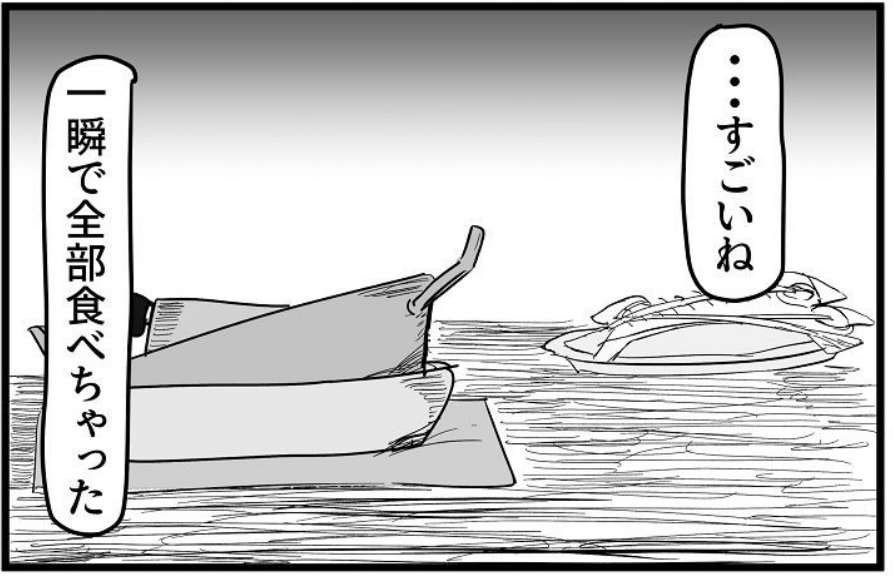
かつ

かつ

かつ



よつほど
お腹空いてたんだ...



一瞬で全部食べちゃった

...すごいね



えっ

じーっ

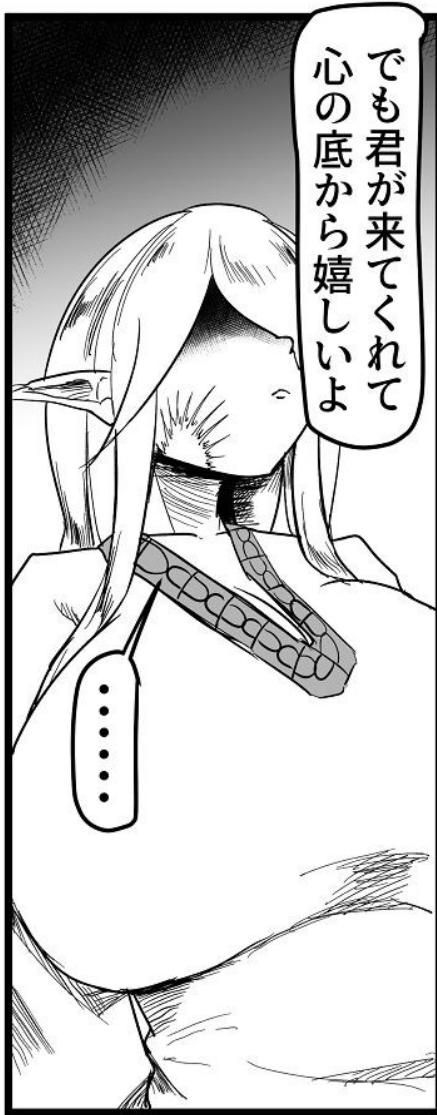


長い間一人で
ご飯食べてたからさ...



ごごめんね
僕がずっと見てるの
おかしかったよね

嬉しくてつい
食べてるとこ見ちゃってた



でも君が来てくれて
心の底から嬉しいよ



ご、ごめん
ちよつと変なこと
言っちゃった

お皿っ
片づけるねっ



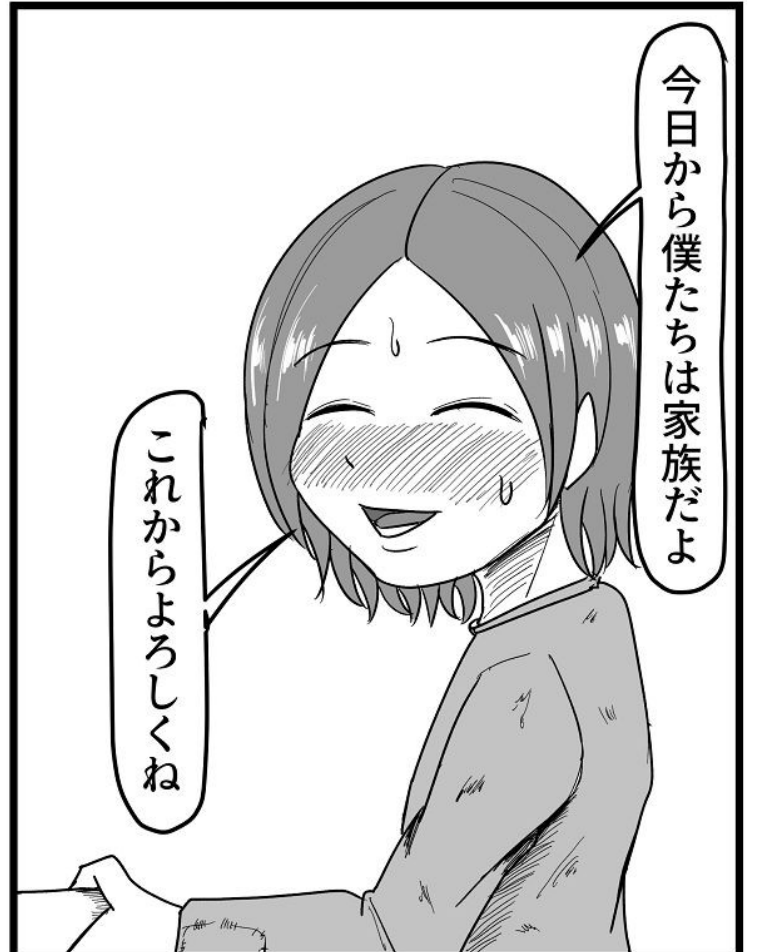
久しぶりに僕以外が

この食卓で
食べたなって……



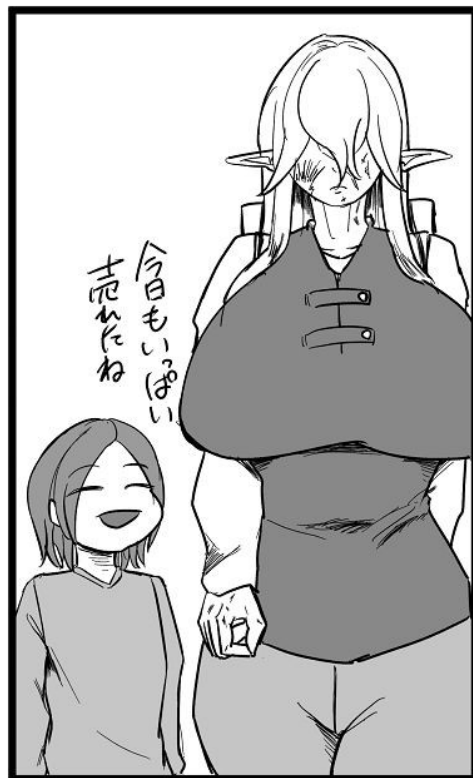
とりあえず
服探さないとなねっ

しばらくはお父さん
のお下がりでご我慢してね



今日から僕たちは家族だよ

これからよろしくね



今日もいほい
まをたね



それから傷だらけのエルフと
僕の奇妙な生活が始まった



彼女の存在は僕にとって
大きな助けになり、
商売は繁盛していった



か、買います

薪買いますか？

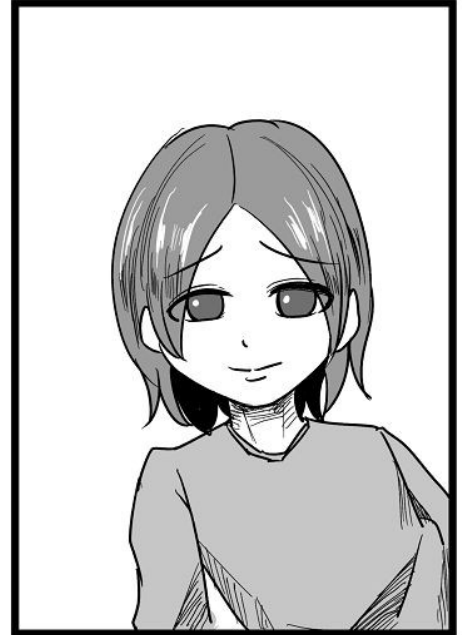


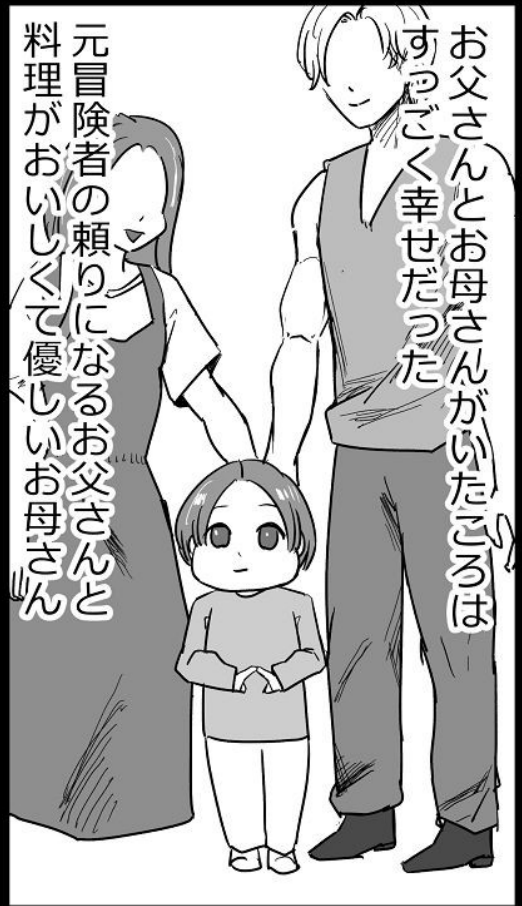
・・・もうすっかり
ここの生活にも
慣れてきたね



ホントにチビ食べるね

1月が経った頃には
既に家族同然の仲になっていた





お父さんとお母さんがいたころは
すごく幸せだった

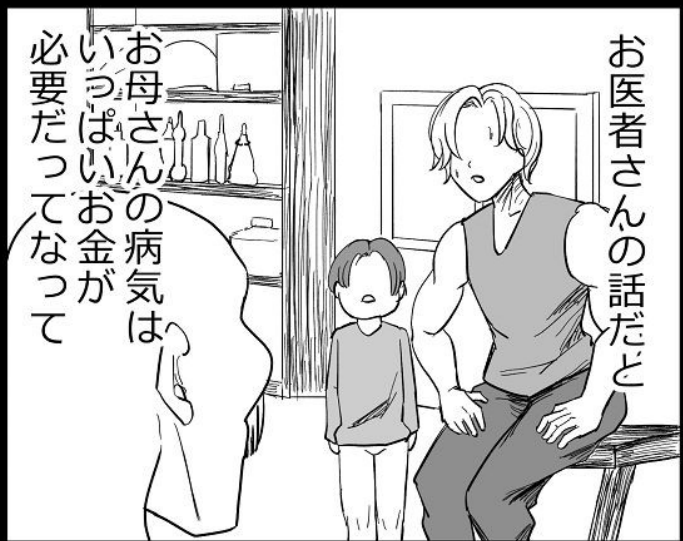
元冒険者の頼りになるお父さんと
料理がおいしくて優しいお母さん



いつまでも続けばいいのになって思ってた



でもある日お母さんが倒れた



お医者さんの話だと

お母さんの病気は
いっぱいお金が
必要だっとなって



お父さんは
また冒険者になった

すまないな
エリン……



お父さんが留守の間
僕がお母さんを看病することになったんだ

だがお前なら大丈夫だ
がんばってお母さん
守ってやってくれ

最初はとても大変だった

シーツを変えたりご飯作ったり洗濯したりでさ

そんな状況を知ってかお母さんは弱ってても

色々褒めてくれたり励ましたりしてくれたり

ほんとう？

おしいね

でも全然身体はよくならなくって

それでも看病して

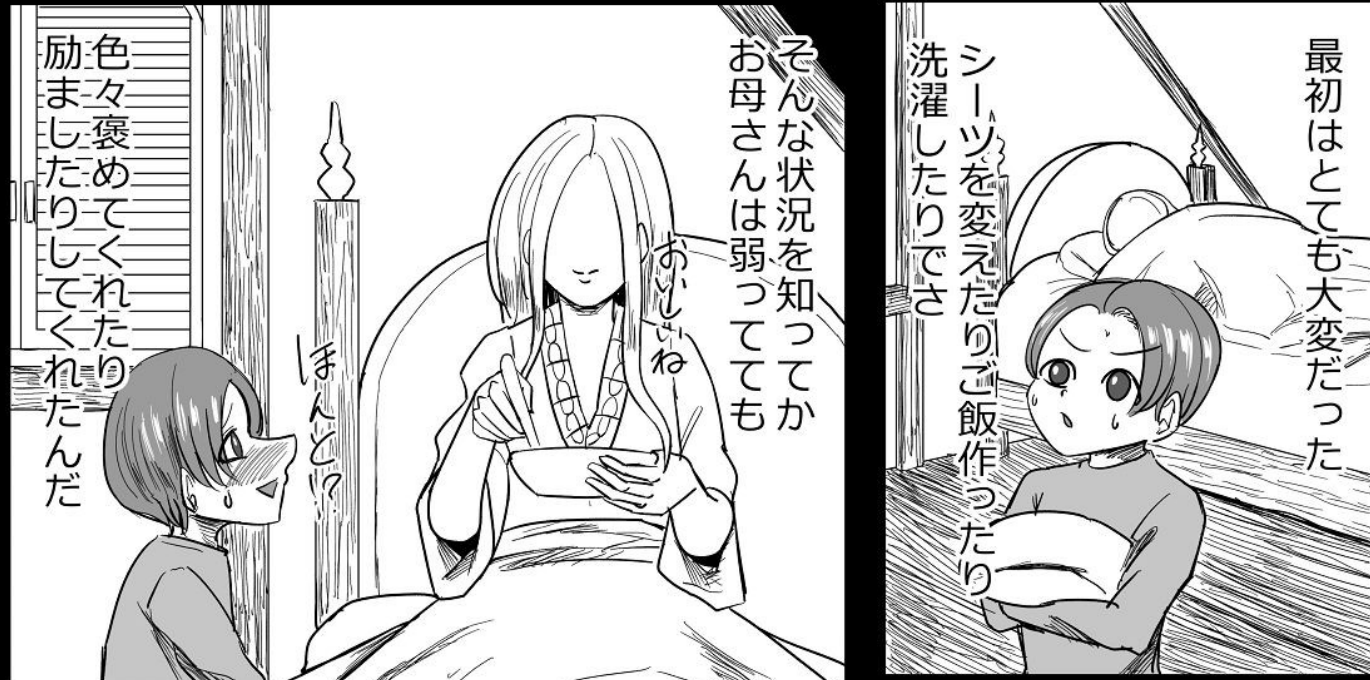
そんな生活の繰り返しをしてたらさ

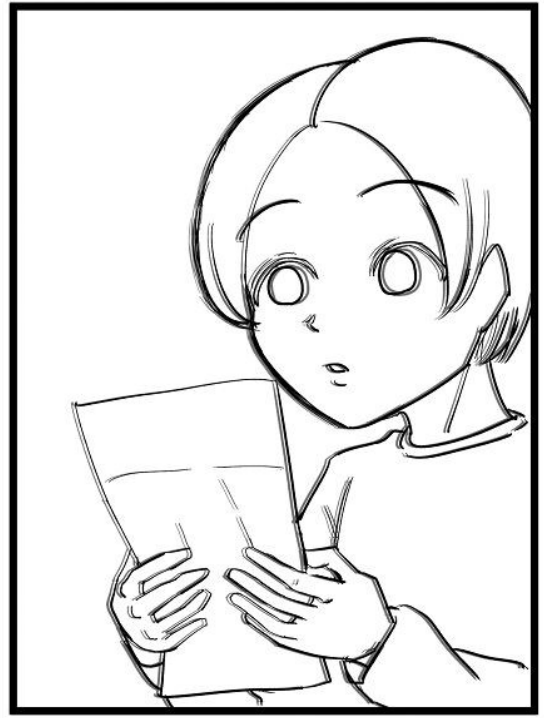
ふと思っんだ

またあの頃みたいに家族で過ごしたいって...

お父さんが冒険者になって半年が経ったある日

覚えのない手紙が届いて...





その手紙にはね…

お父さんが死んだって
報せが書いてて…



それからも…お母さん…
看…病…

がんばっ…たけど



お…母…さん

死…んじや…っ…



僕が…

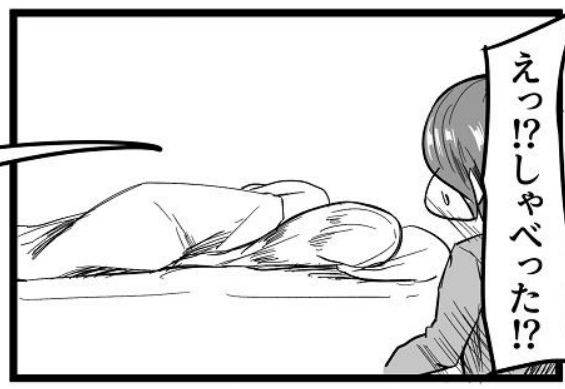
なん…も…力に…
なれなく…って…



そんなに自分を
責めないの



えっ!?!しゃべった!?



そんな事いちいち
引きずっても
意味ないから



まあ、気持ち……わかるけどね
アンタまだ子供だし

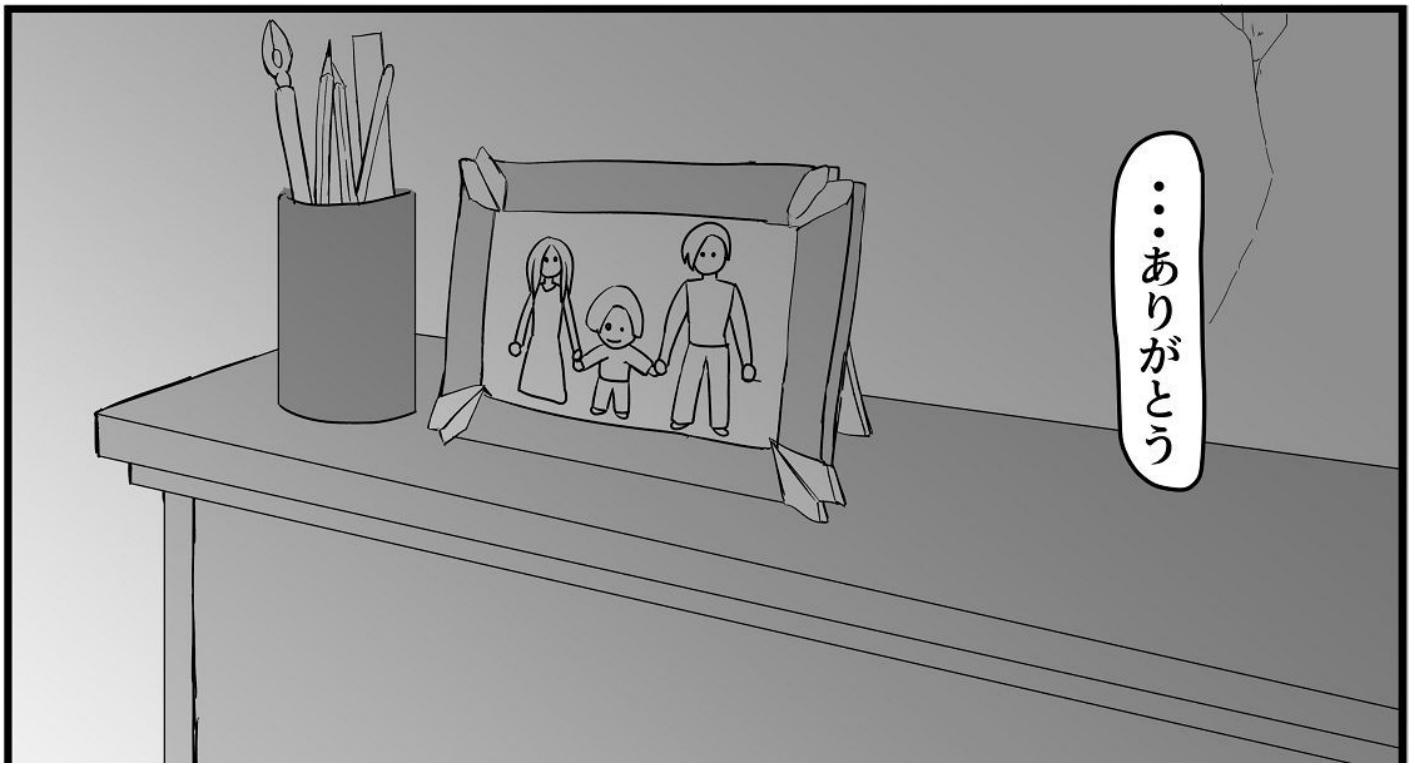
でもそんな気分を
紛らわせたかったから
私を買ったんでしょ



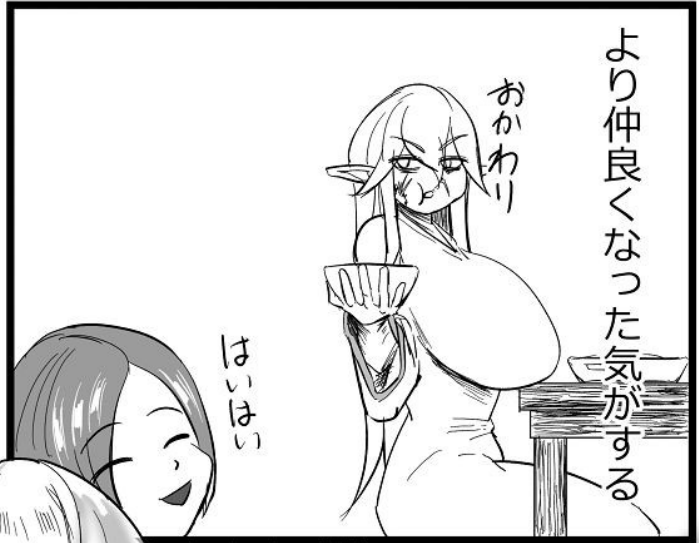
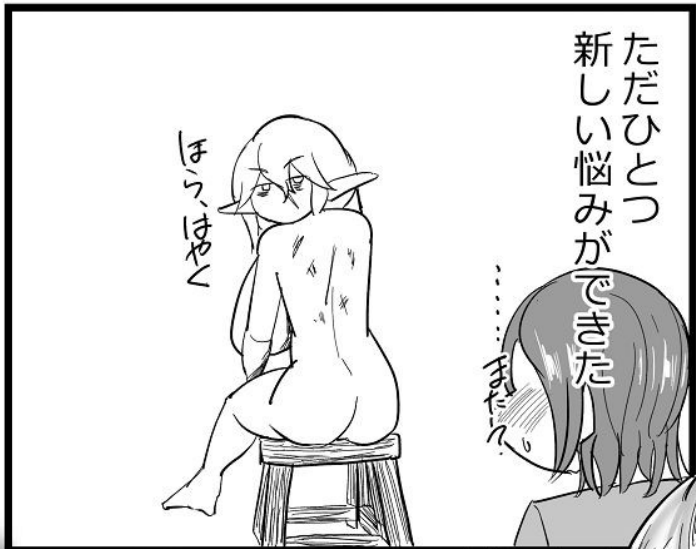
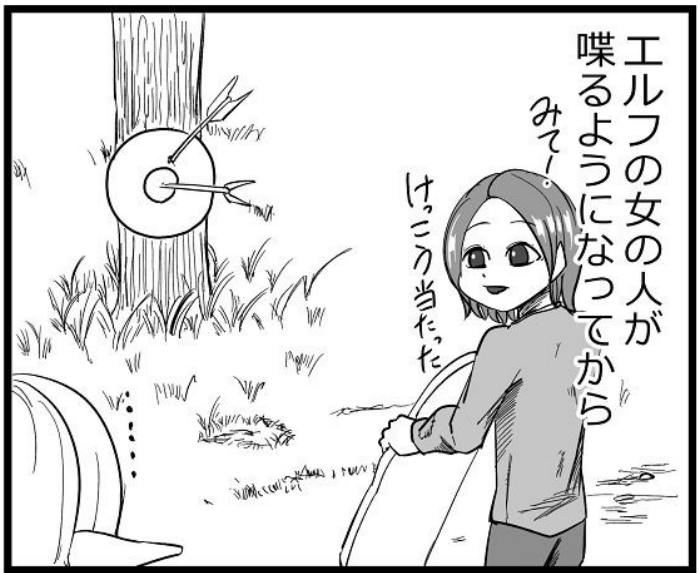
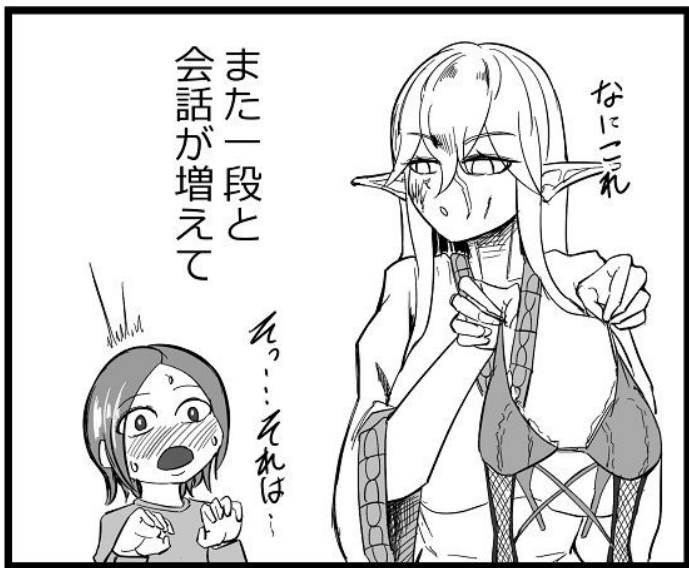
だからもっと
私を頼りなさい

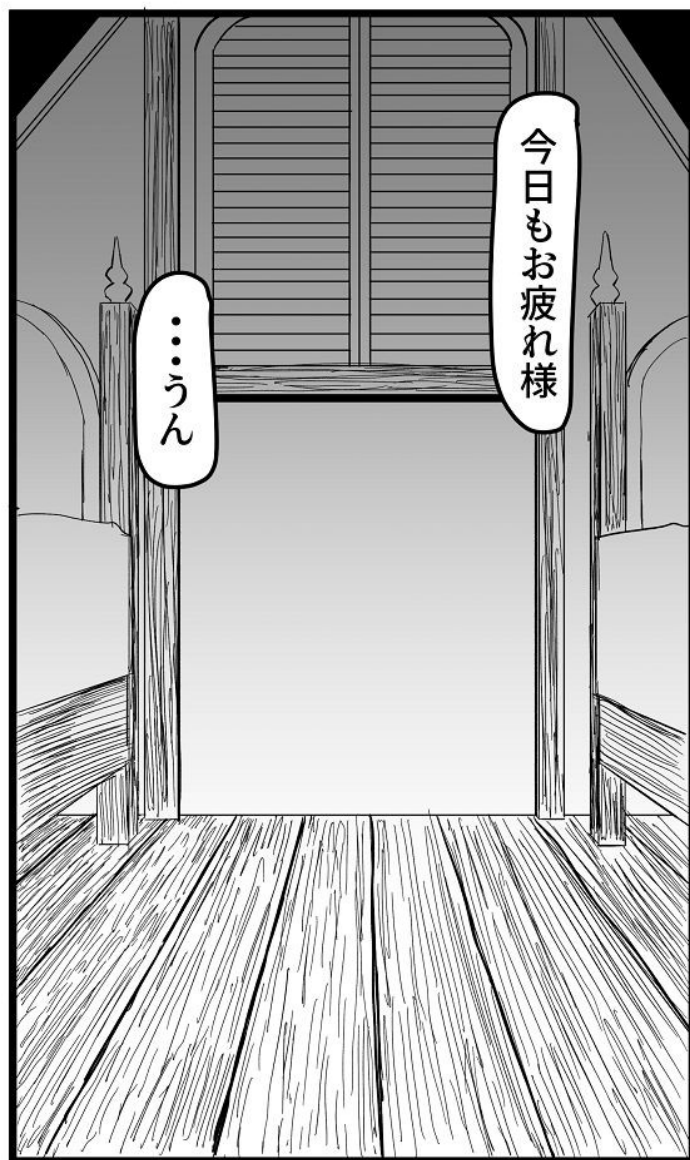


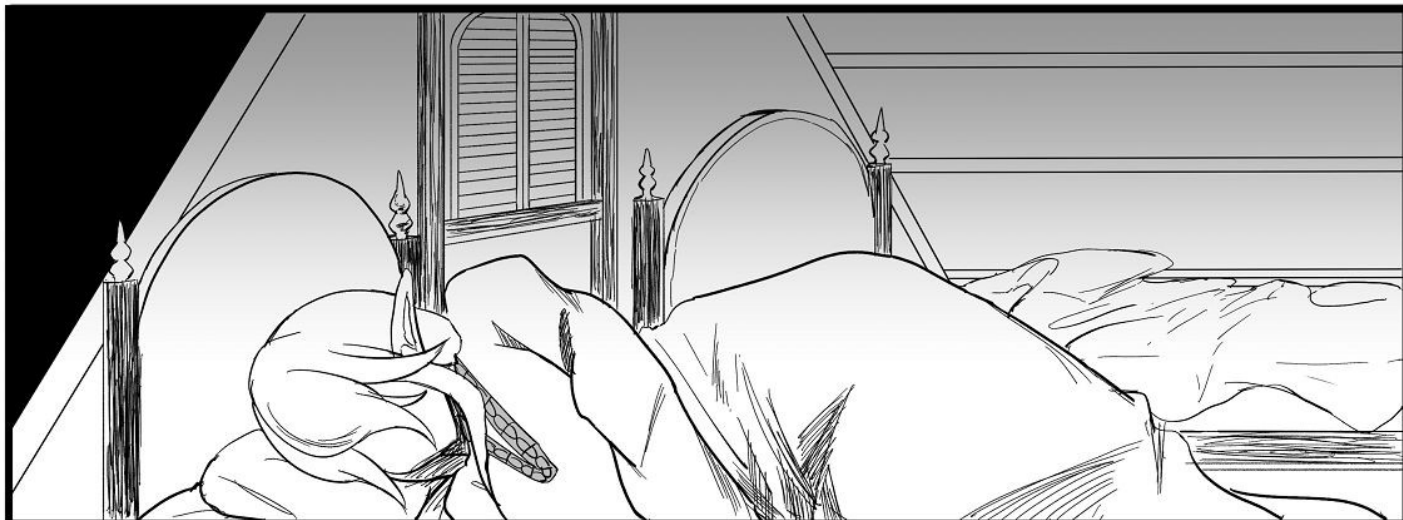
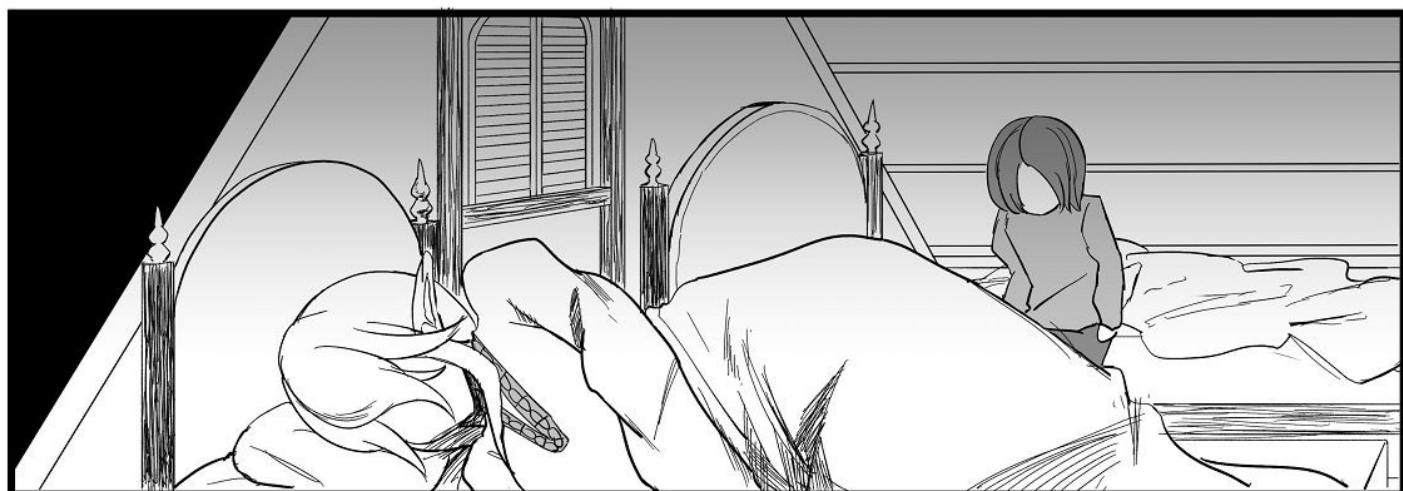
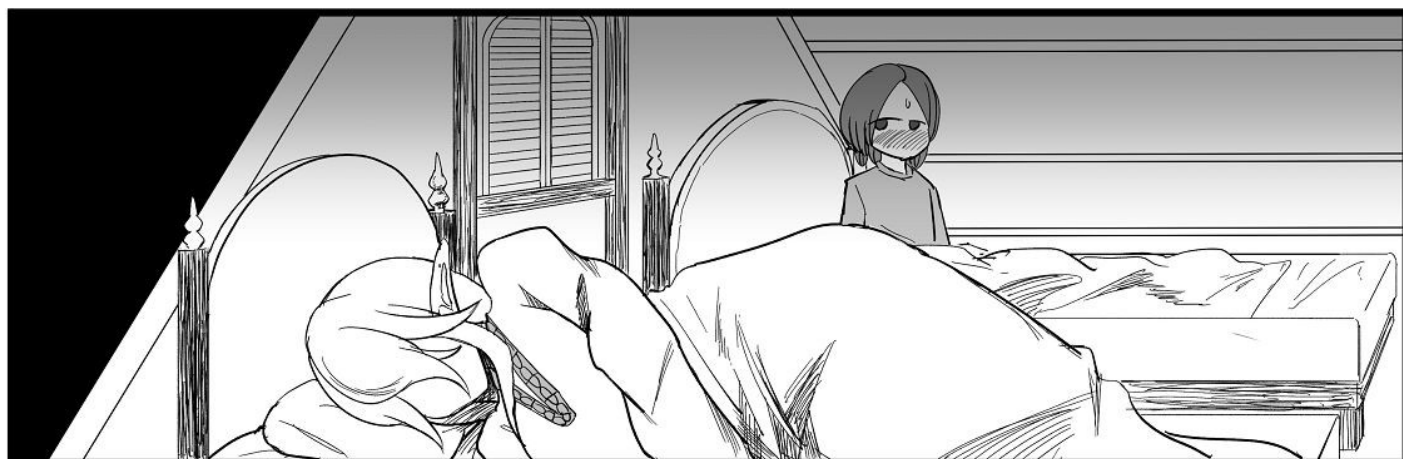
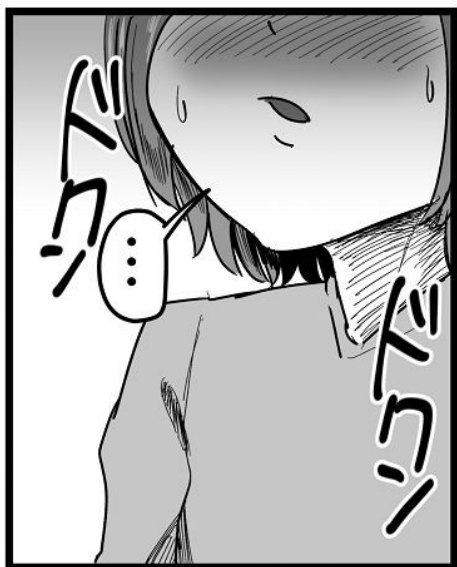
一人で抱え込まない

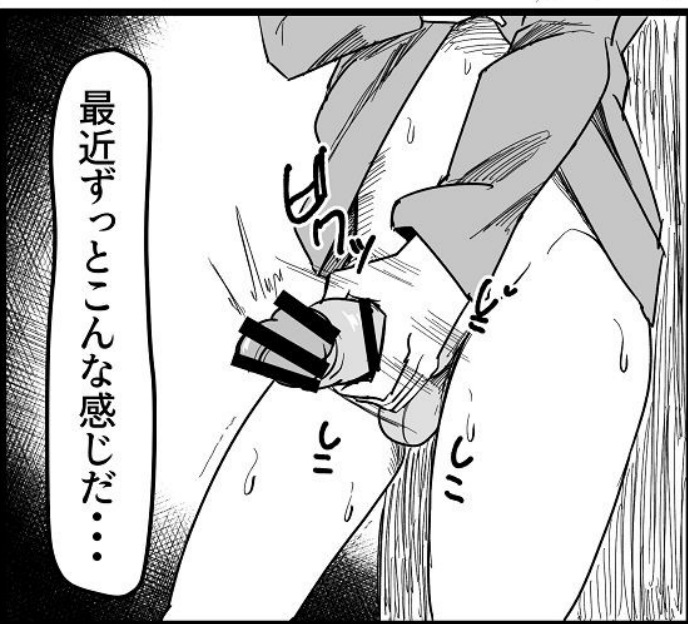


……ありがとう







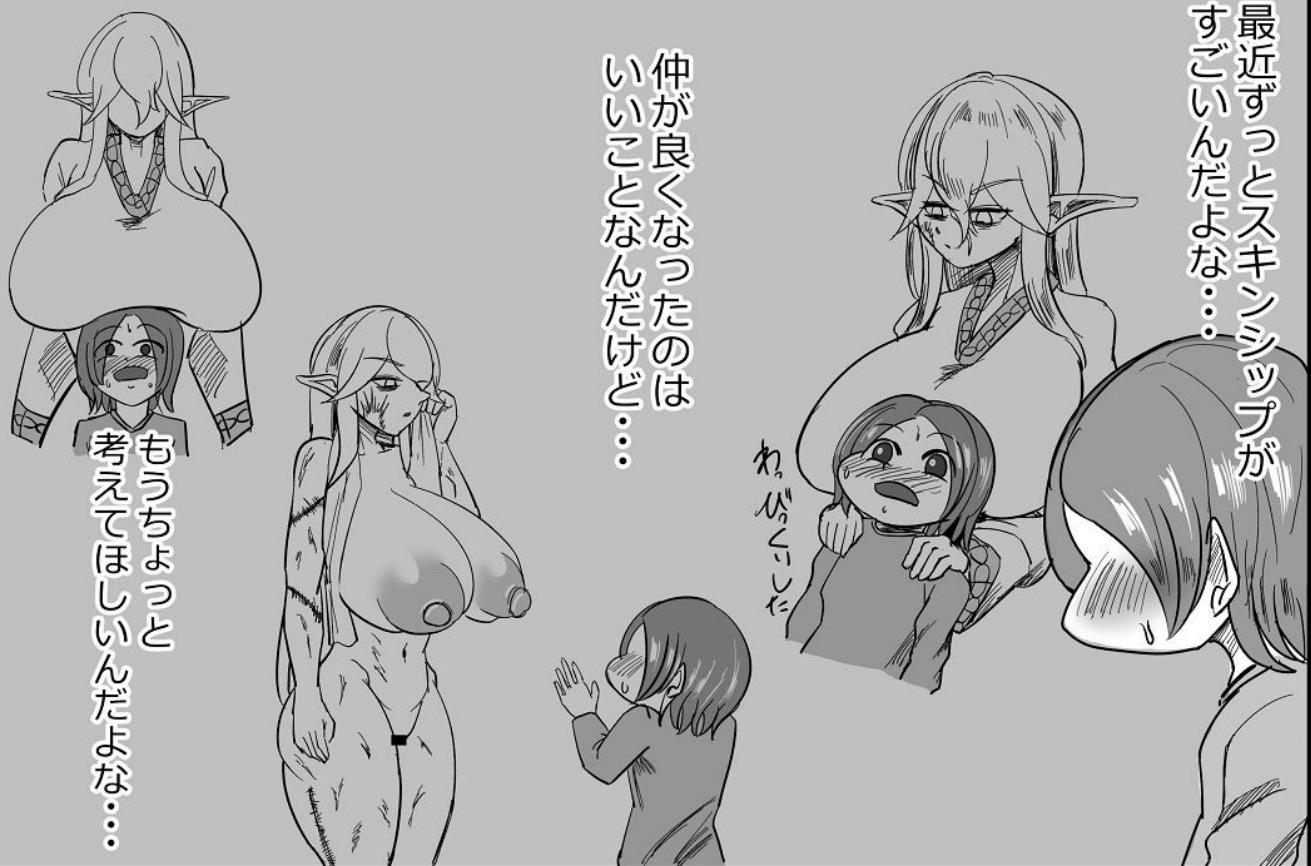


最近ずっとスキンシップが
すごいんだよな...

仲が良くなったのは
いいことなんだけど...

もうちょっと
考えてほしいんだよな...

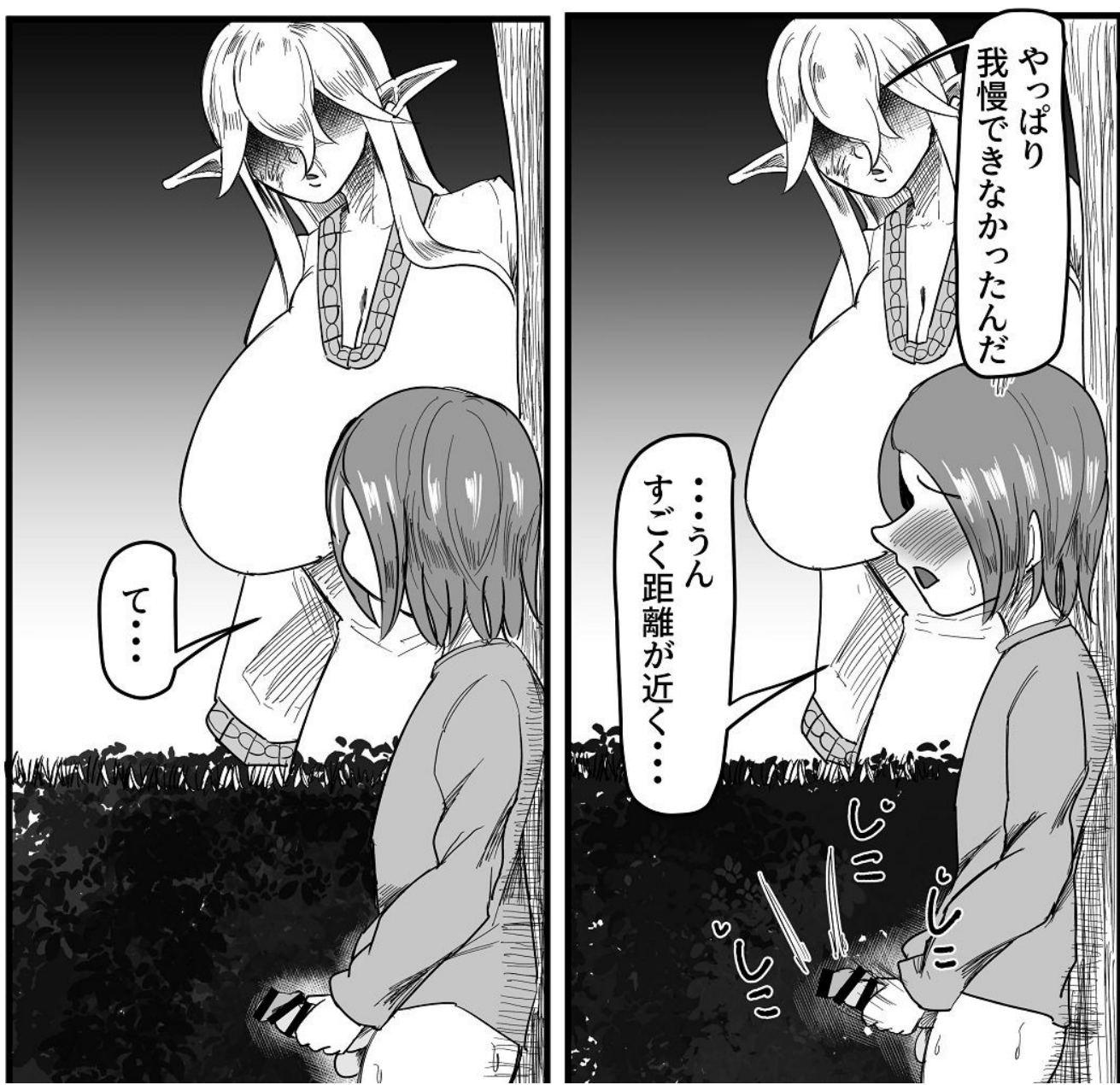
わ、びくこした

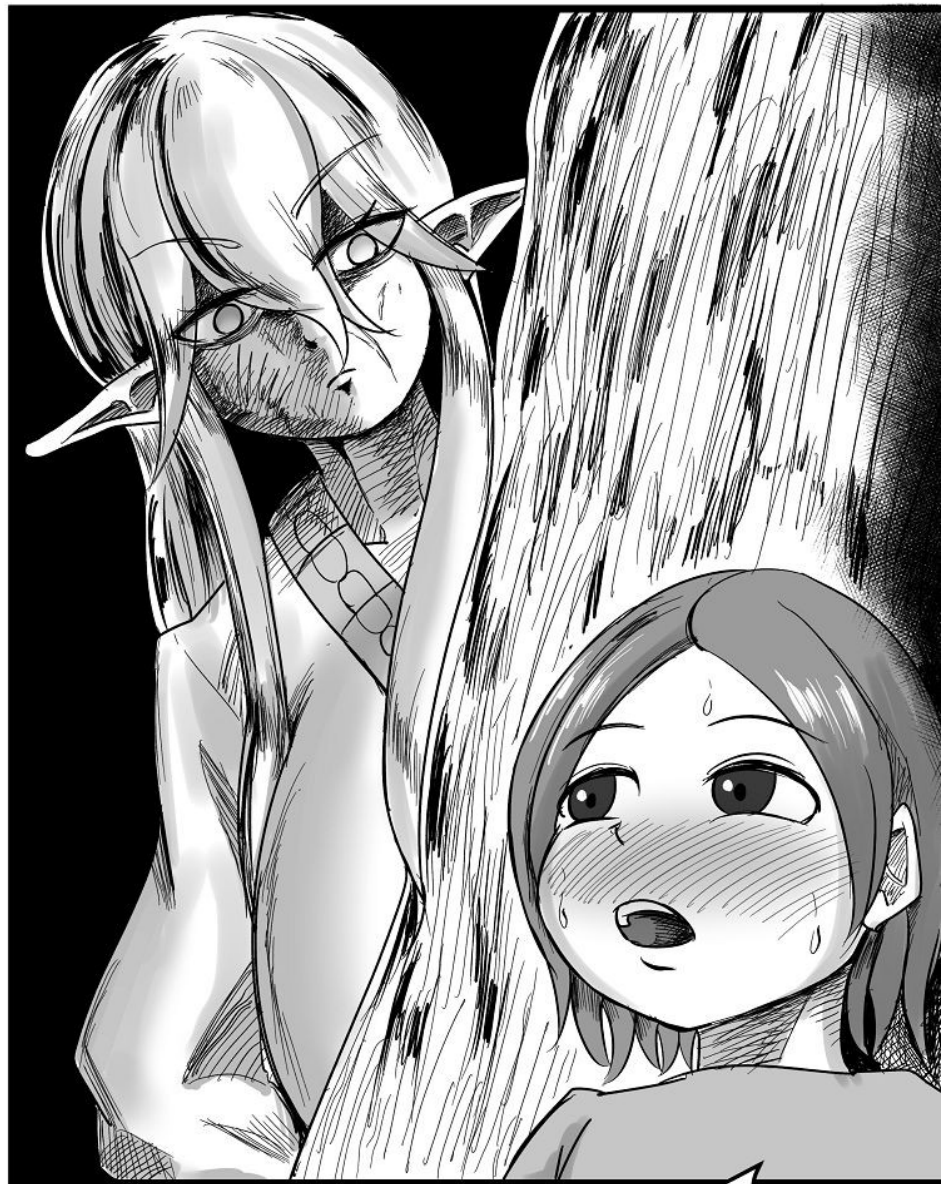


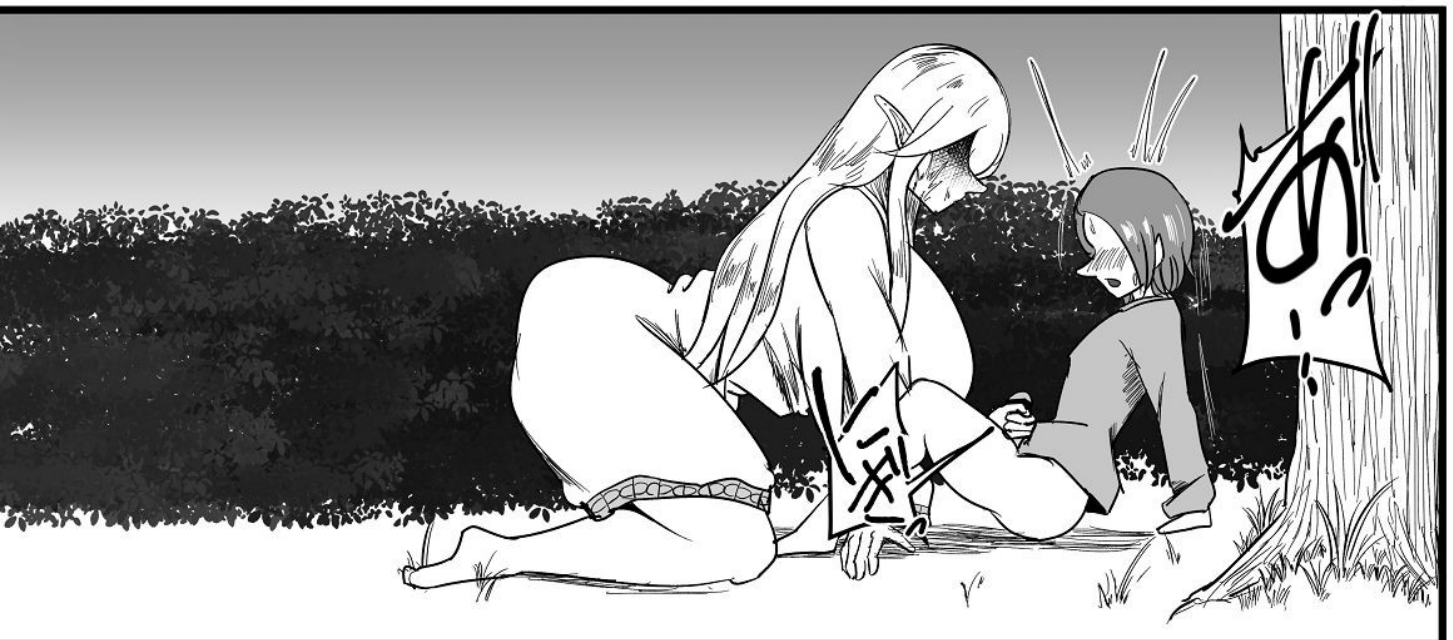
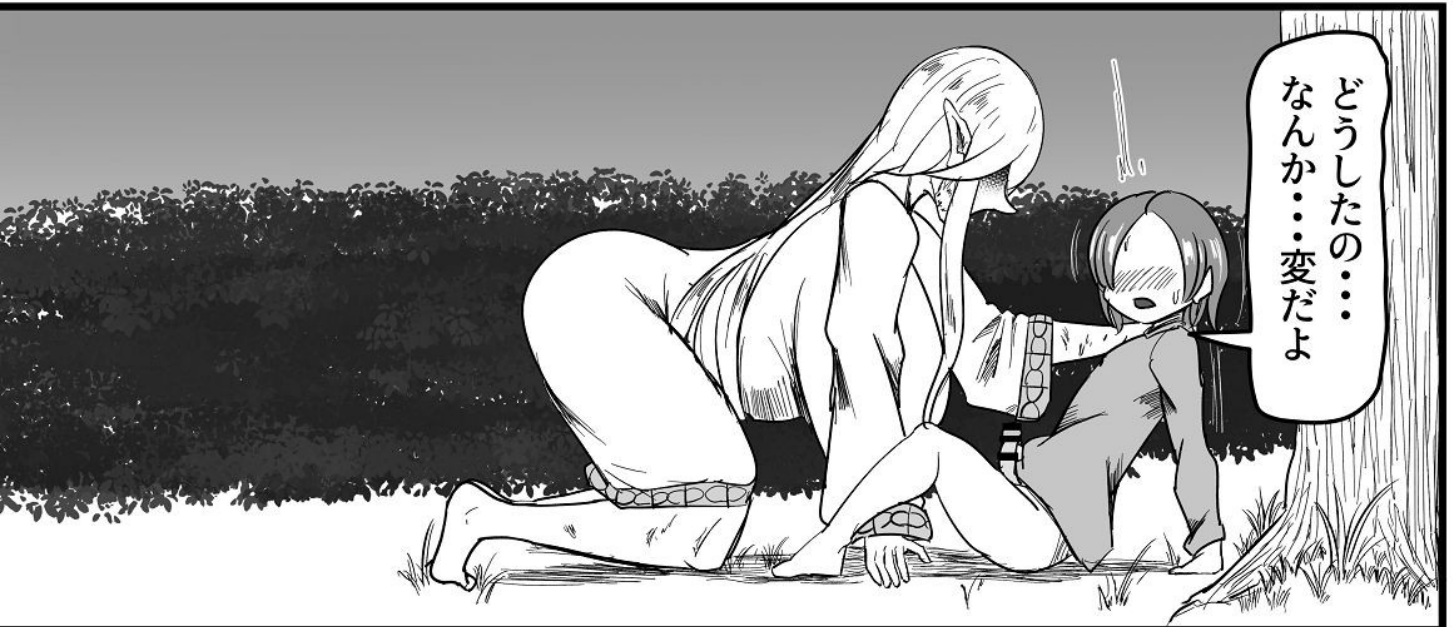
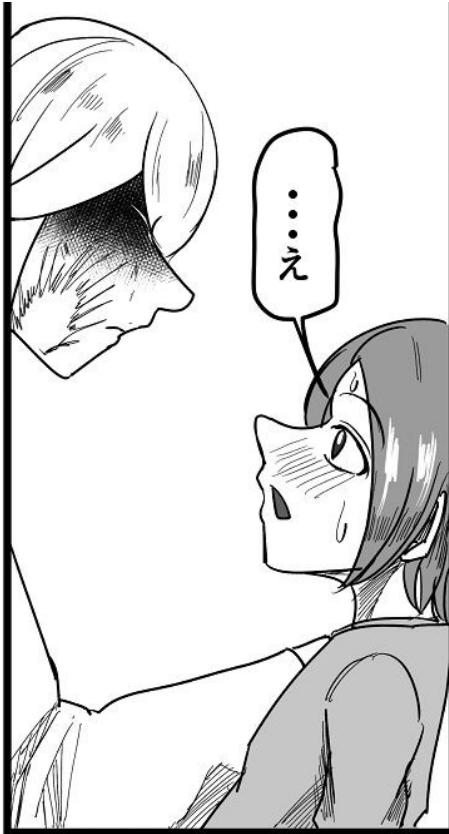
やっぱり
我慢できなかつたんだ

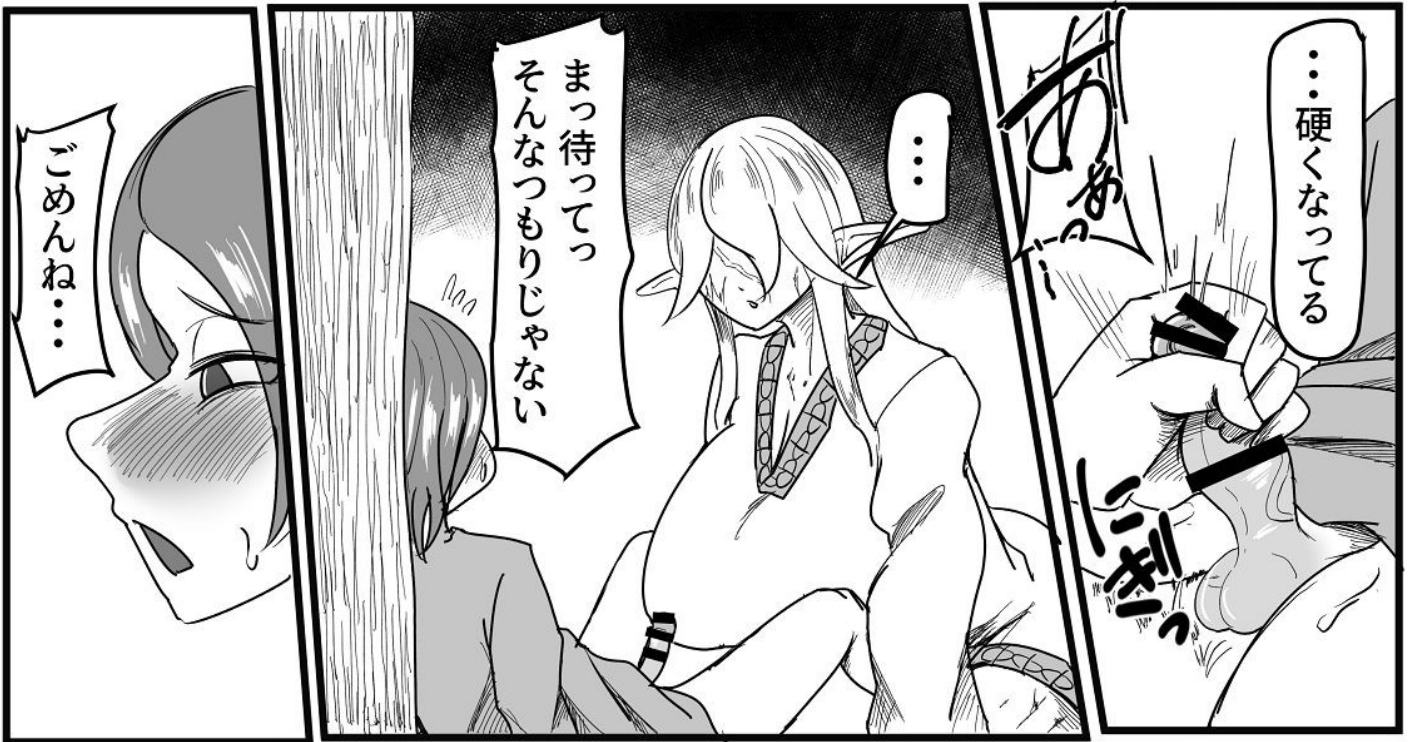
...うん
すごく距離が近く...

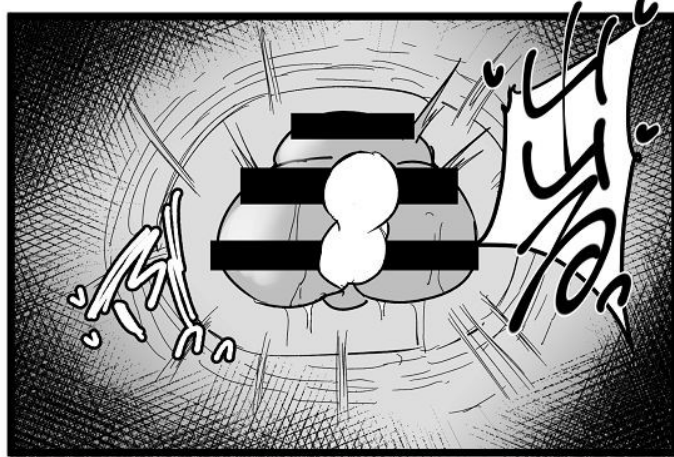
て...

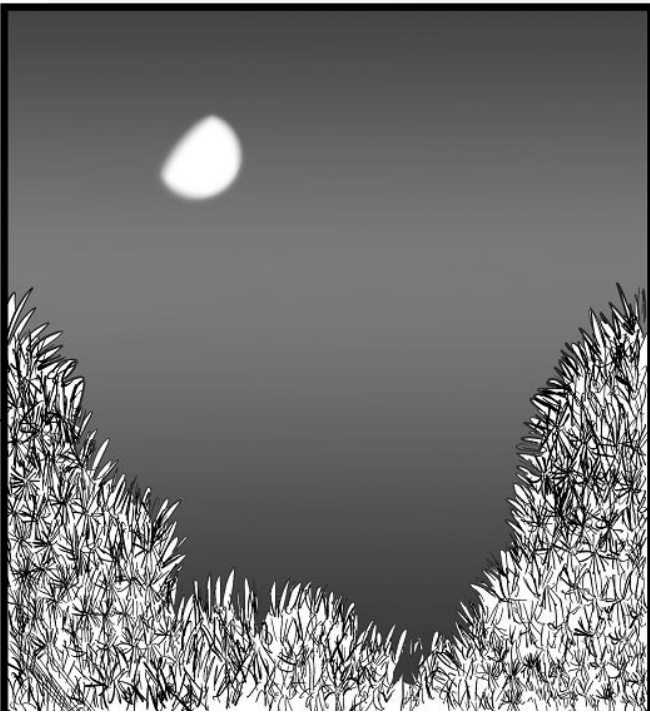
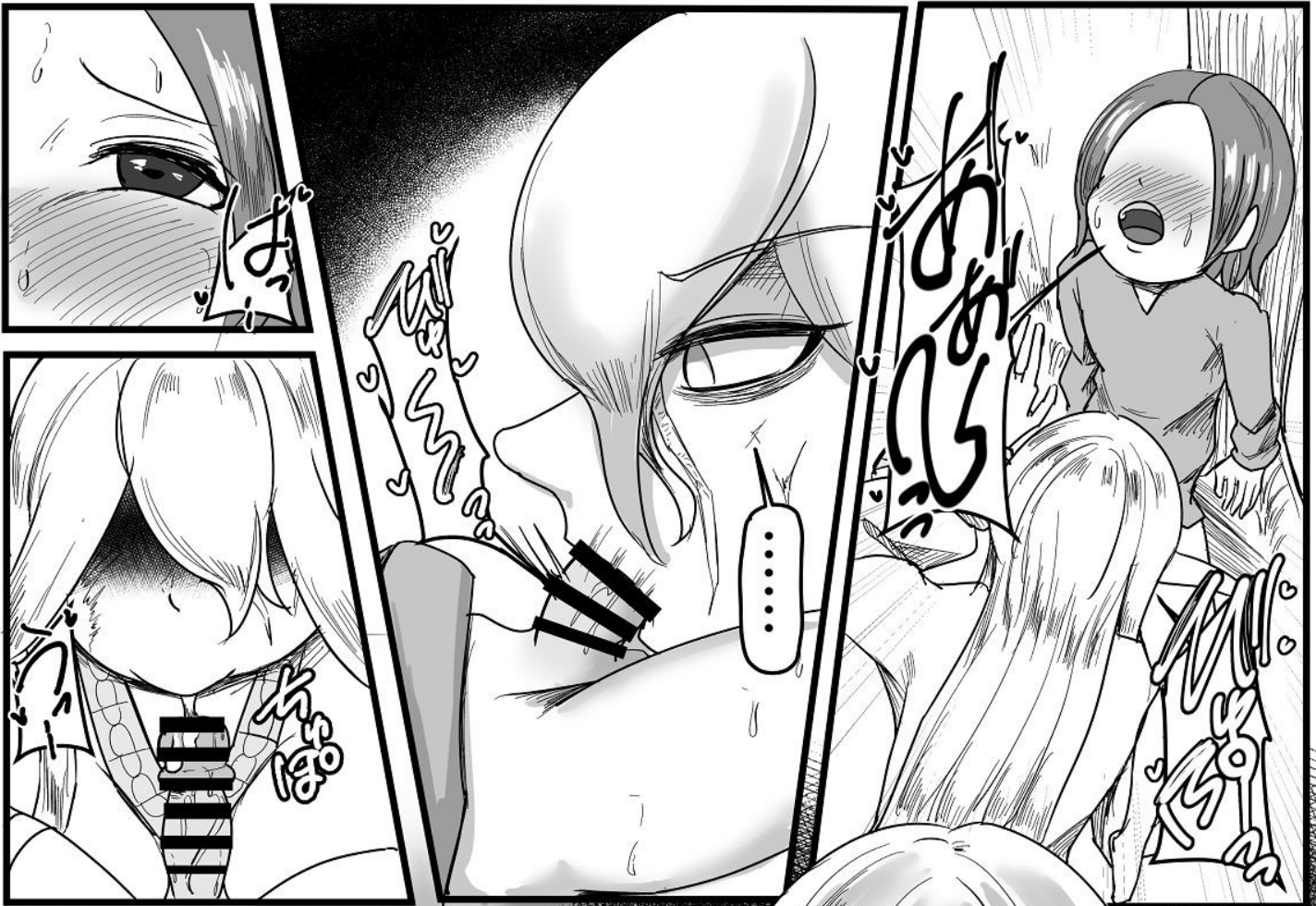
















そんなのいらない

えっ……

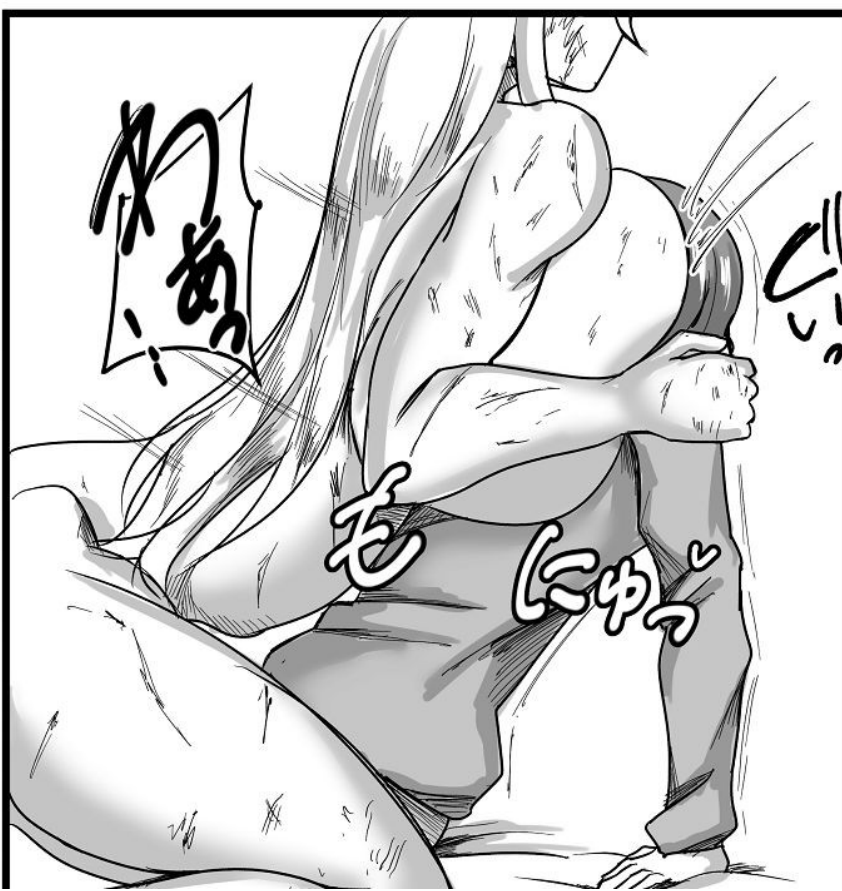


ちよっと!!
ホントにどうしちやったの!?

あと……まだ心の準備が……

すい

しんっ



わあ

も

にゅっ

しゅ



したいと思ったらする

それが男女の仲



ずっと見てたもんね



どう?
初めてのおっぱいは



ほら、いっぱい吸っていいよ

あなただけのおっぱい

はっはっはっ...



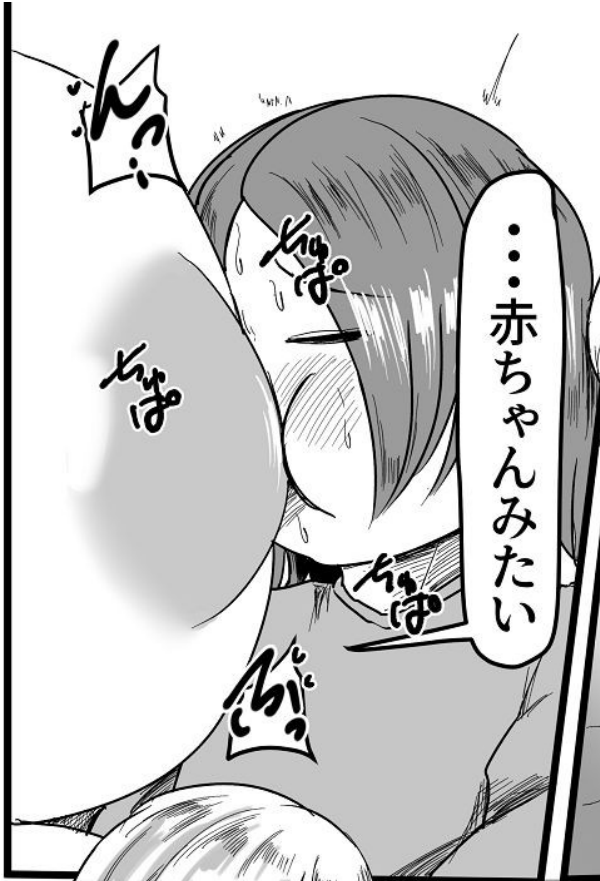
独り占めに
していいよ

……

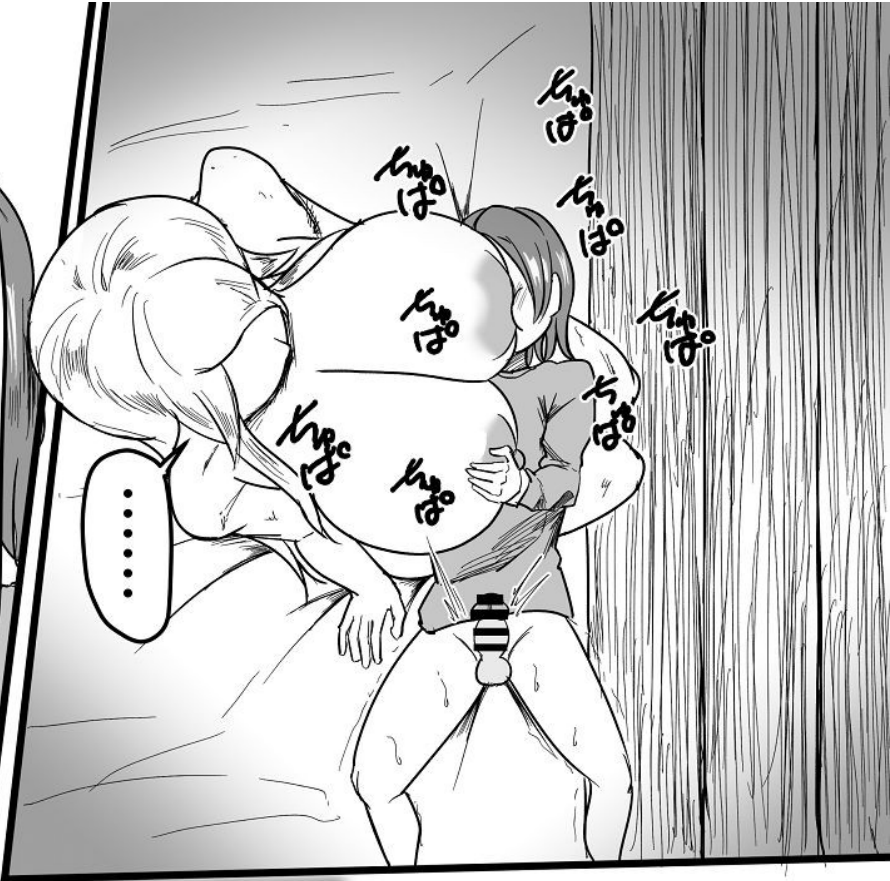
ドクッ

ドクッ

ドクッ



……赤ちゃんみたい



……



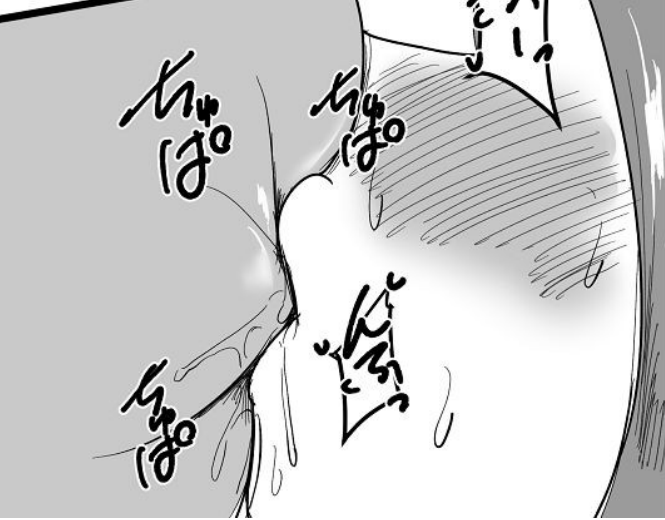
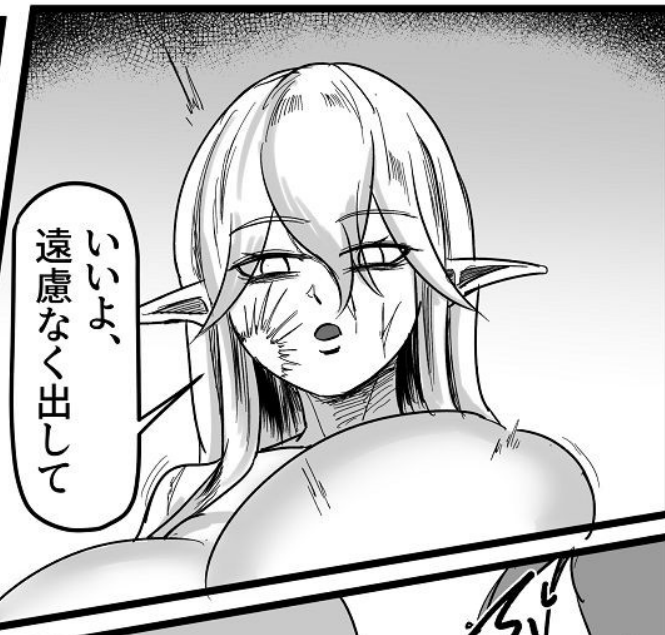
吸う力も強い……



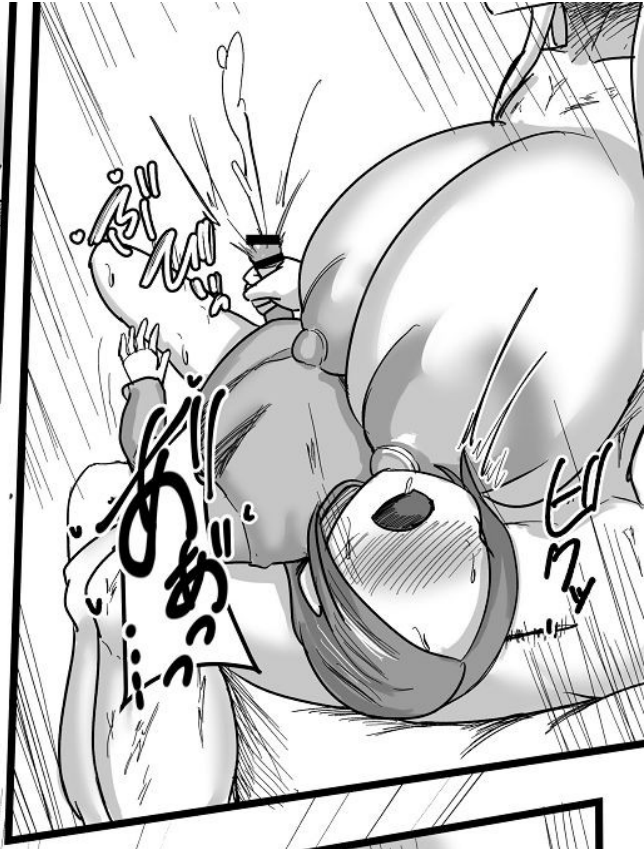
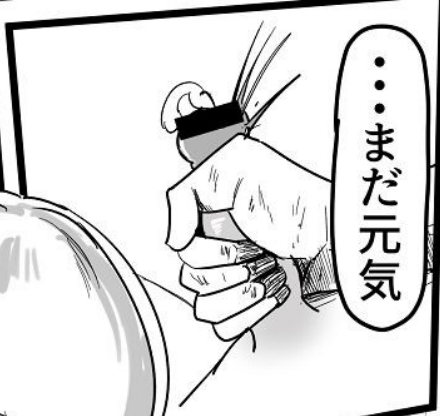
……いつも頑張ってたから
今日はお礼してあげるね



ずっと我慢してたんだね

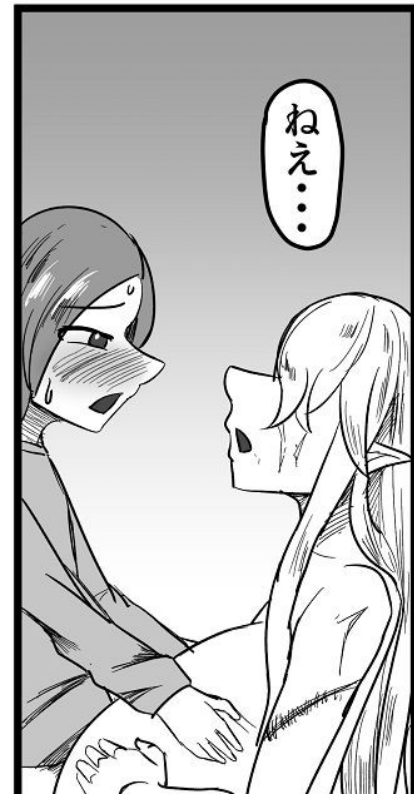
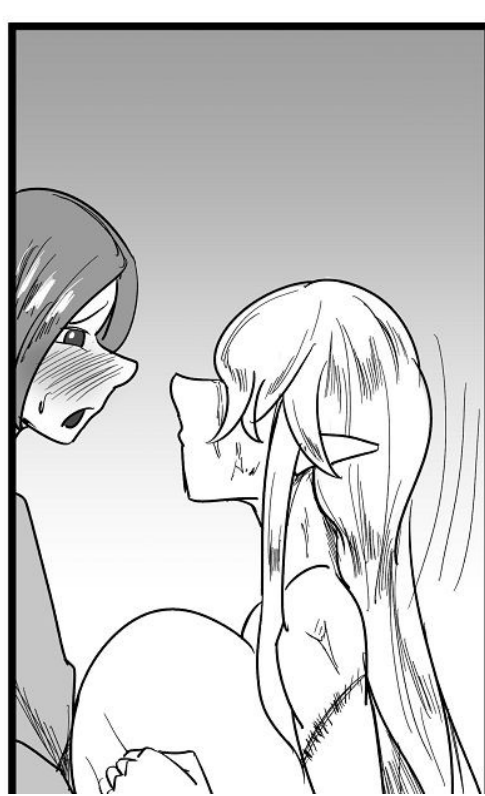


じゃあ次は
挟んであげる



どう?
気持ちいい?

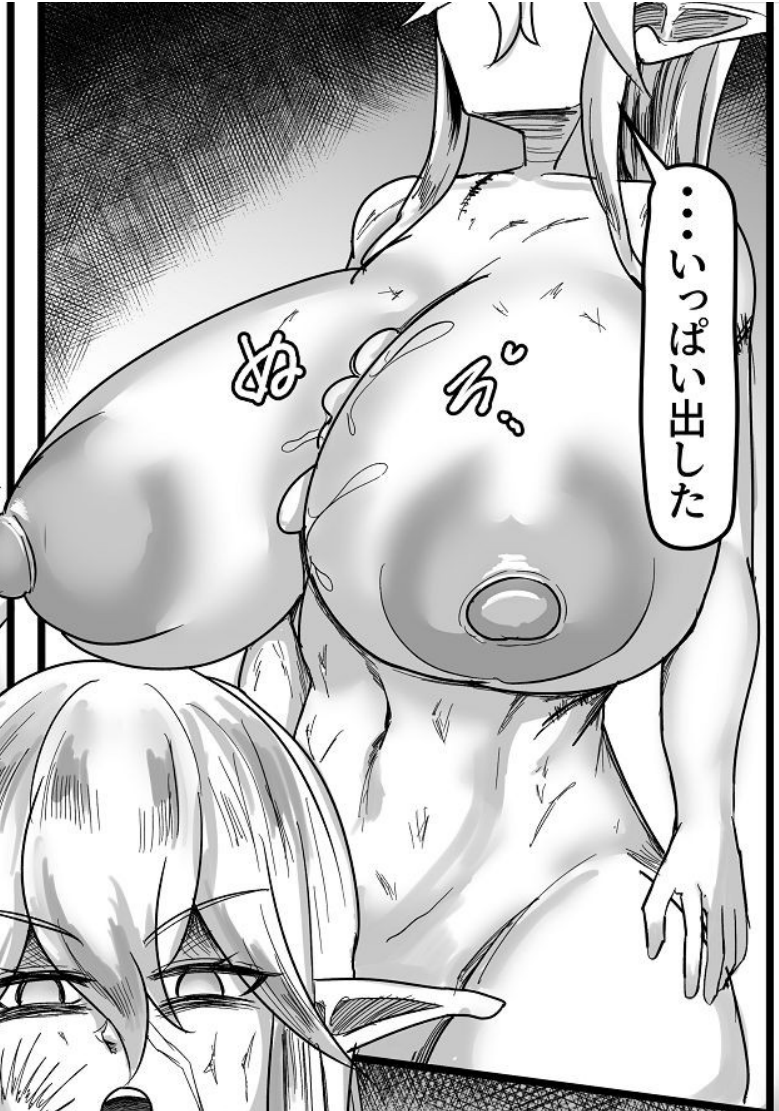


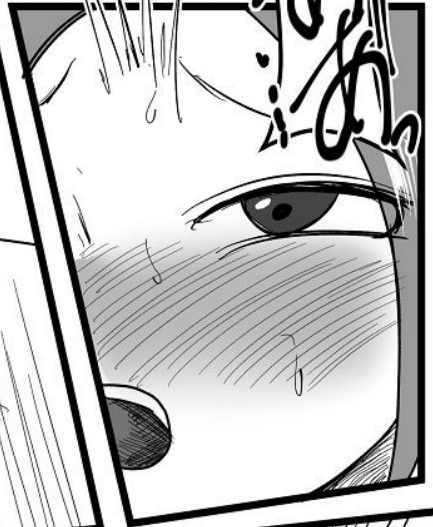
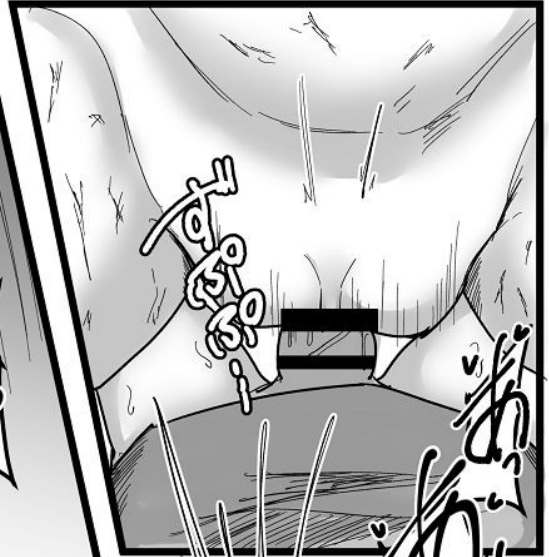
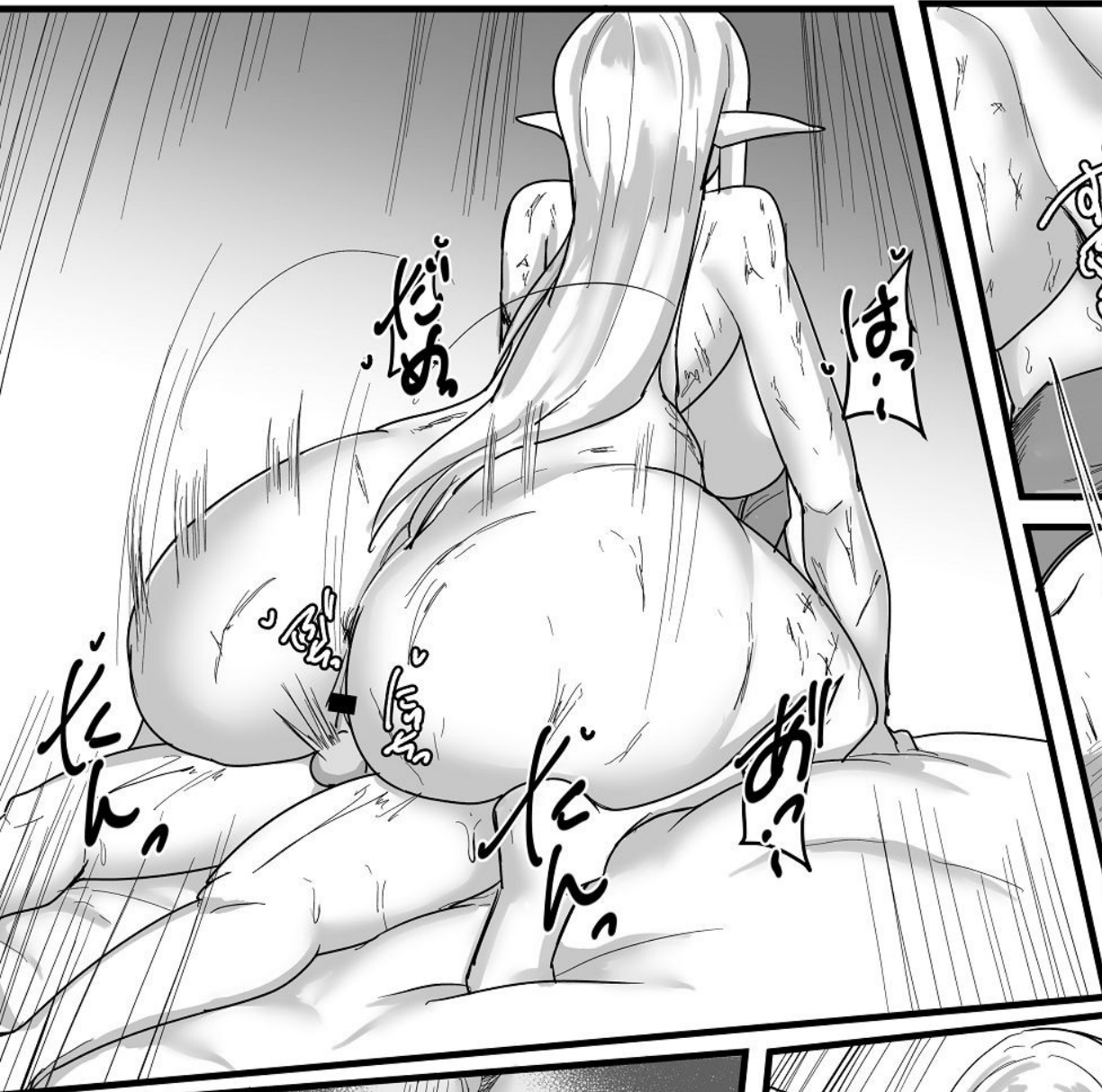


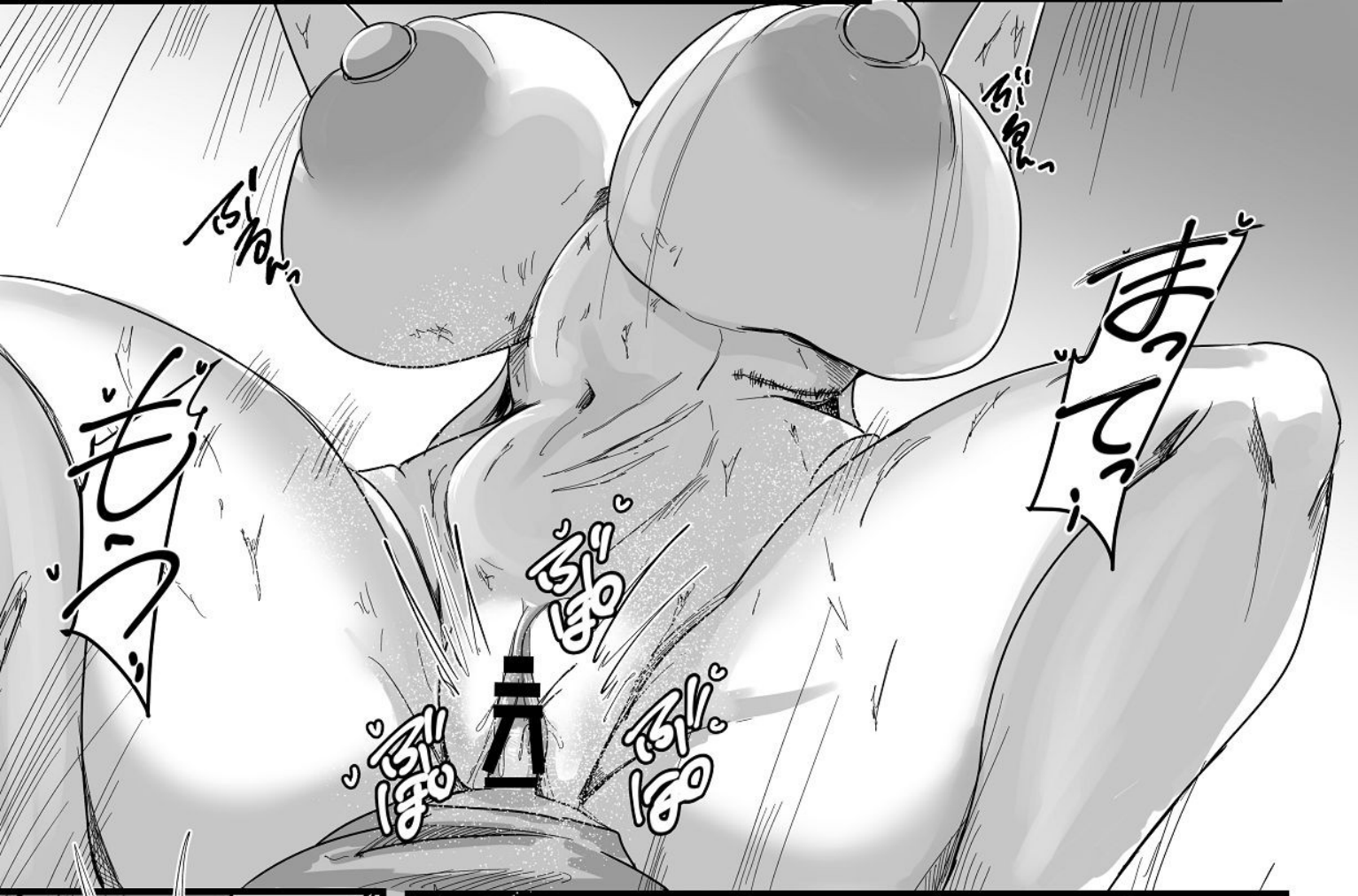


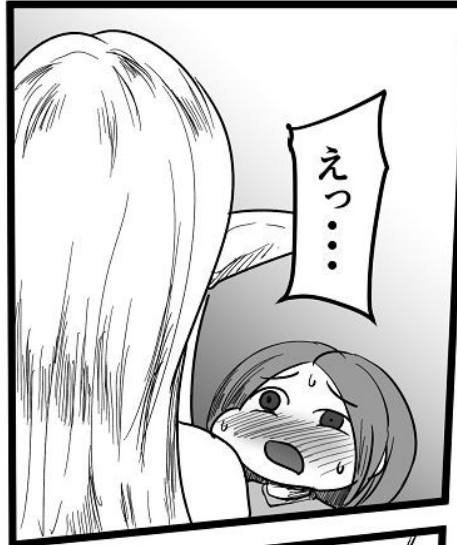
んんん(EE)んんん...













もっとな...

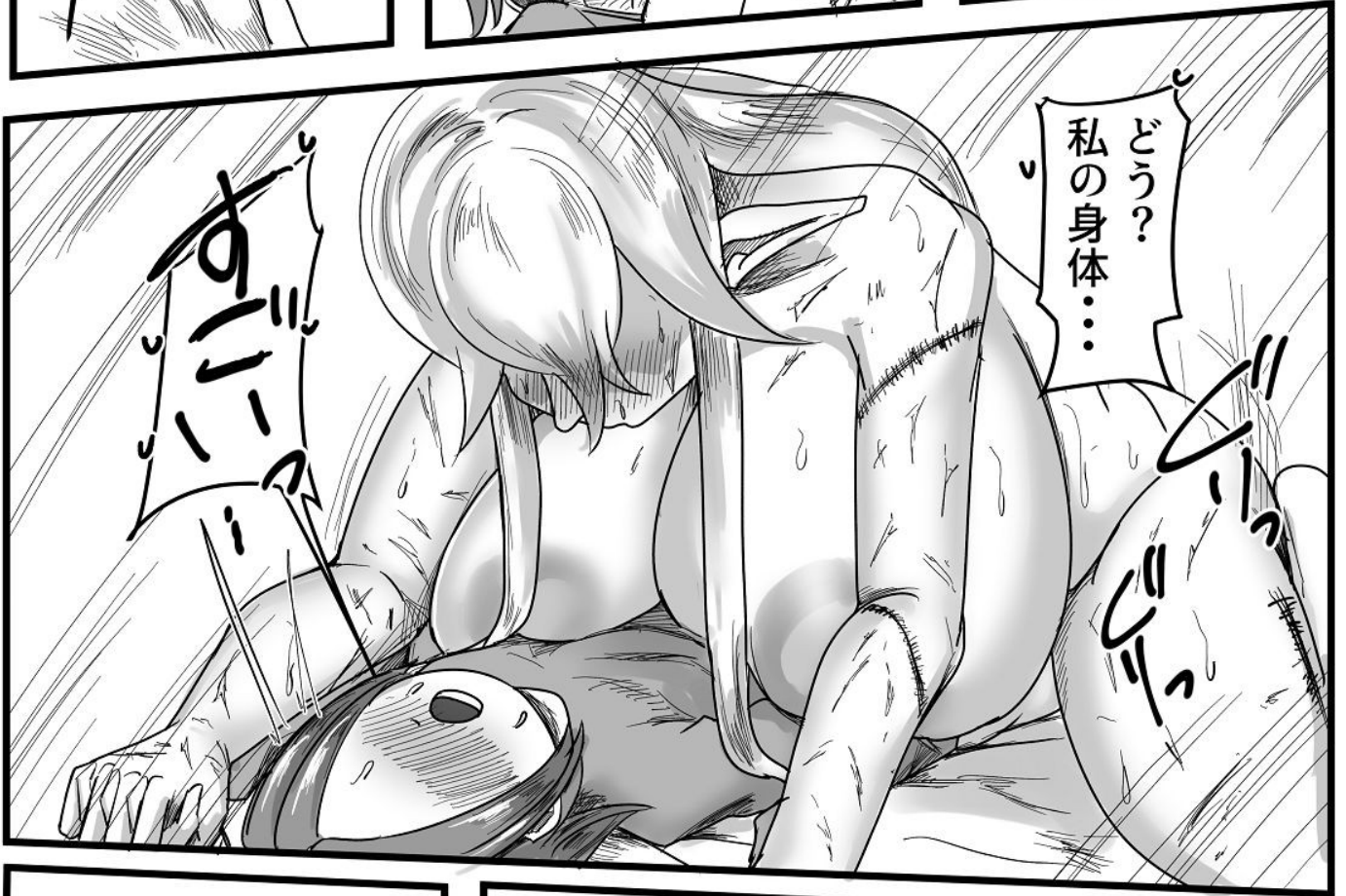
私が裸見せるたび...

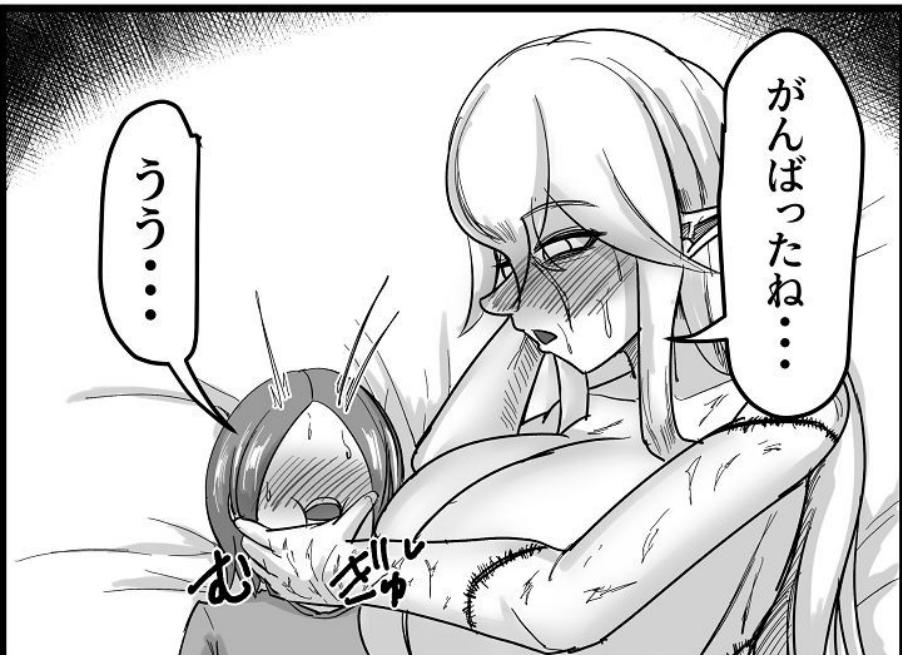
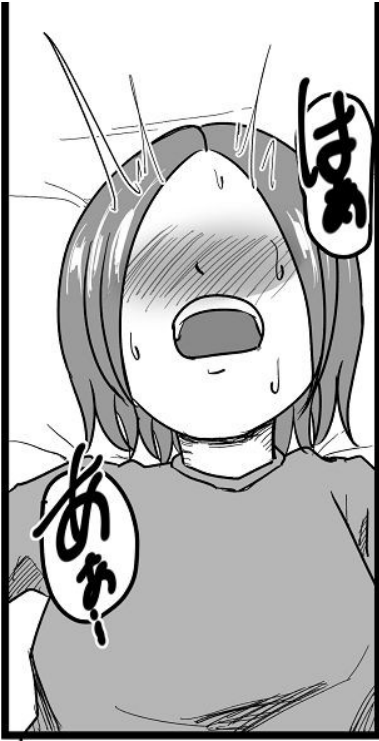
もっとその顔
見せて...

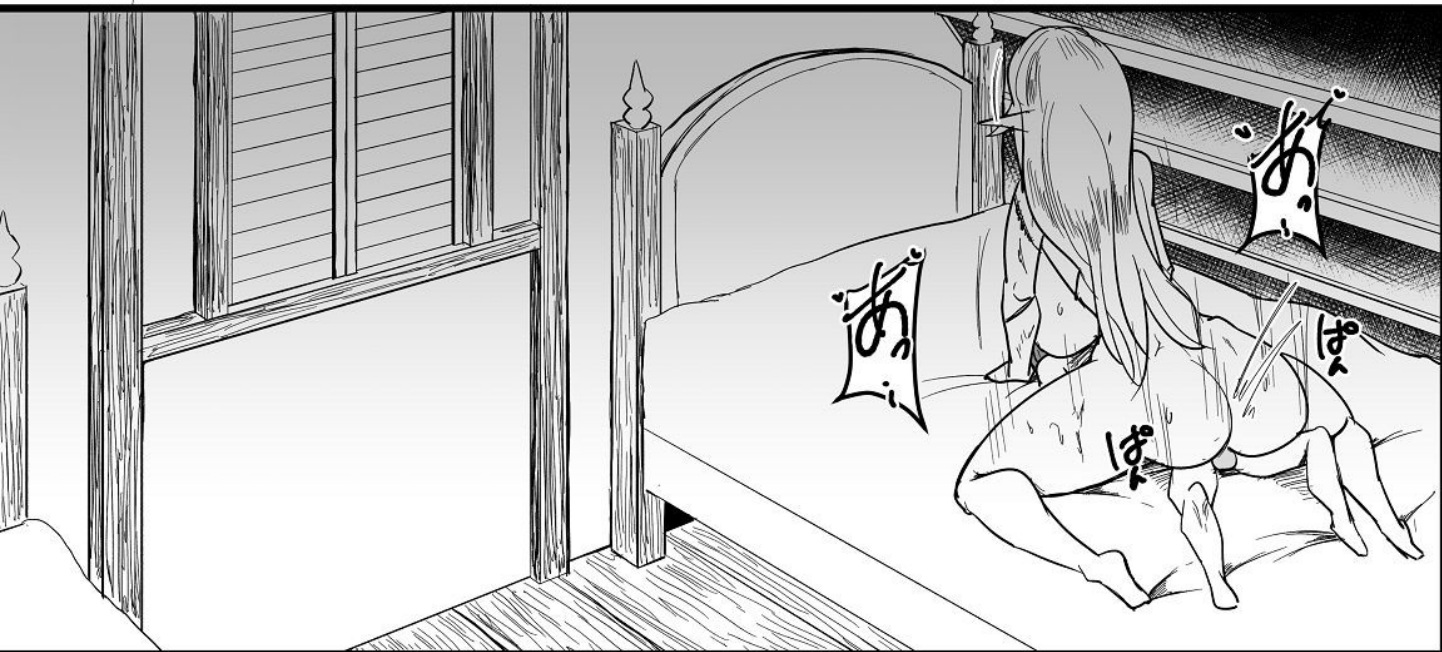
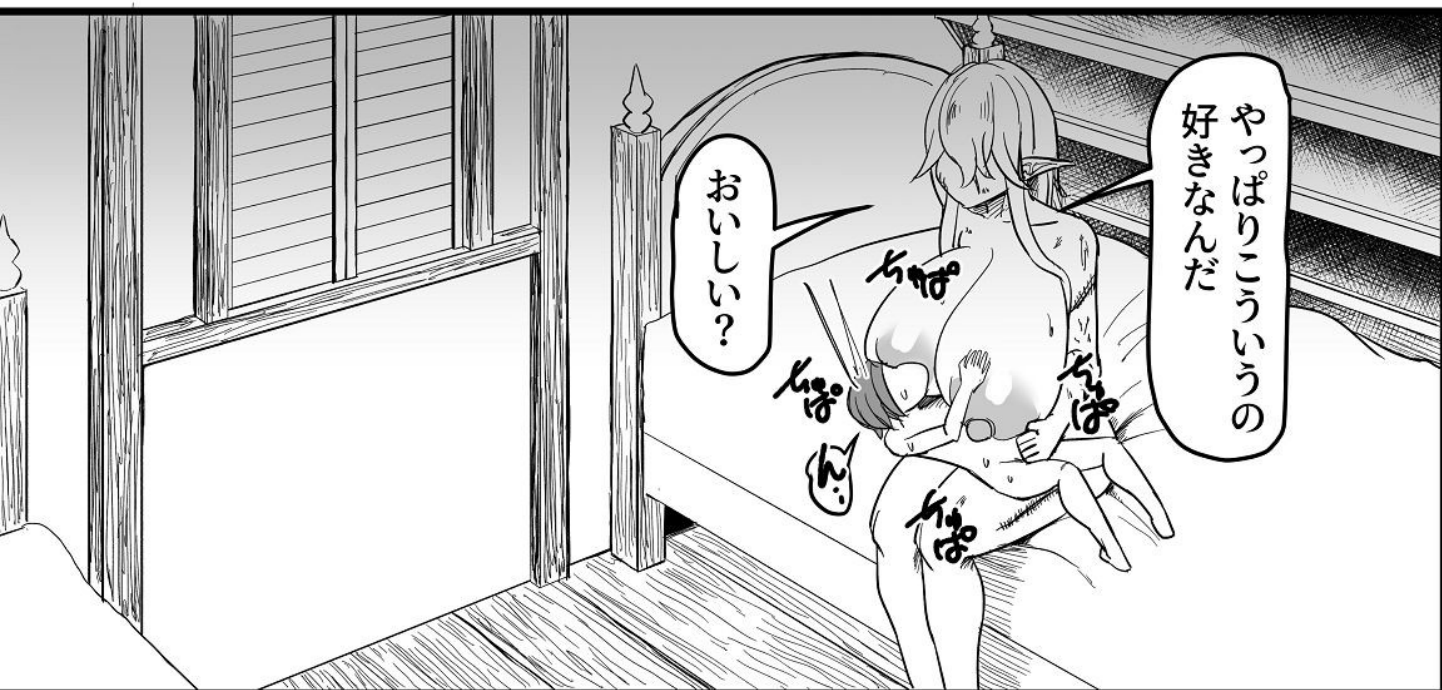


困った顔...

ずっとしてた...









自分から
腰振ったことある？

いや...

じゃあしよ



ん...
...ごめんっ



僕だけ
気持ちよくなって...

...ううん

私も気持ちいいよ





・・・どうして今まで
手を出さなかったの？

こ・・・怖かったから

ヘンなことしたら
殺されるって噂で聞いて・・・



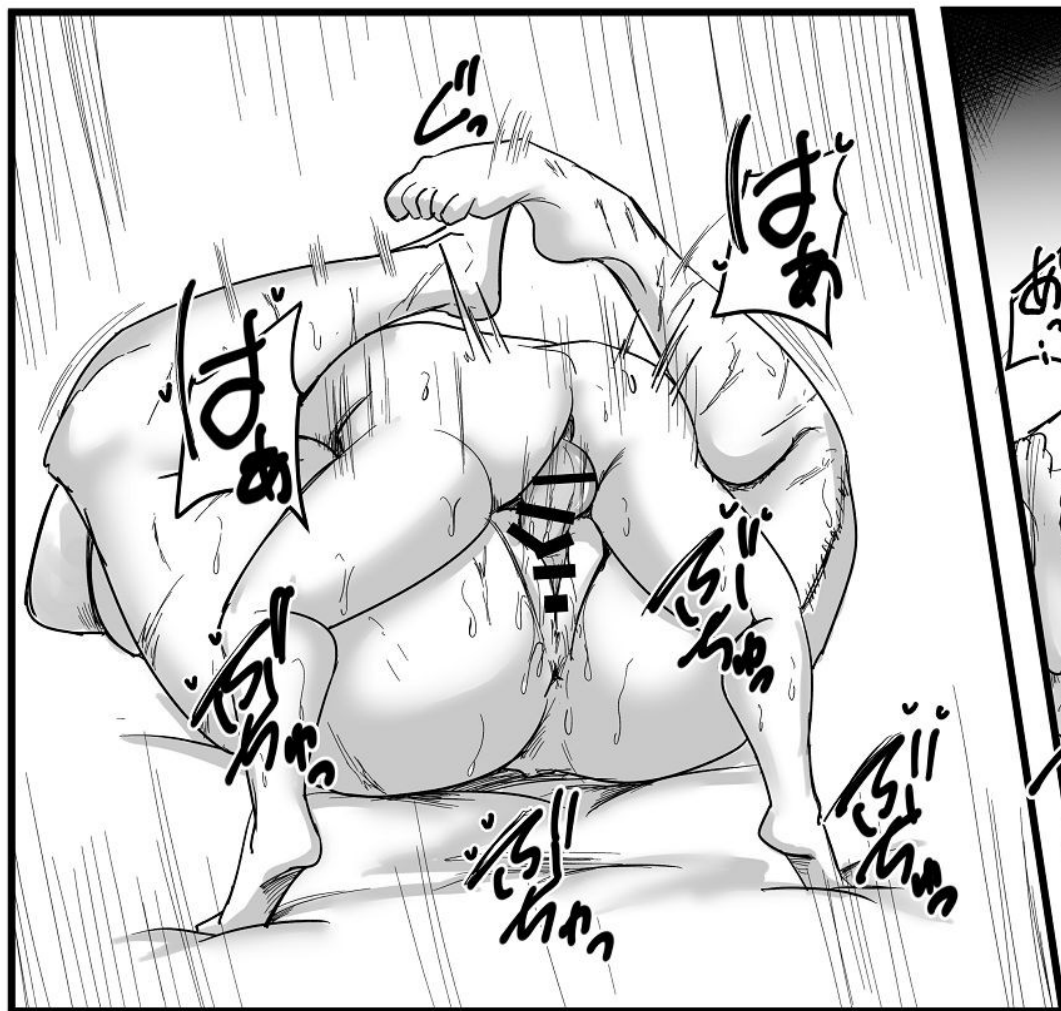
でも・・・

本当は甘えたかったし・・・



それと・・・
家族のつもりだったから・・・

ヘンな関係に
なりたくなかったし・・・





...んておはいい

私の臍内に...

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは



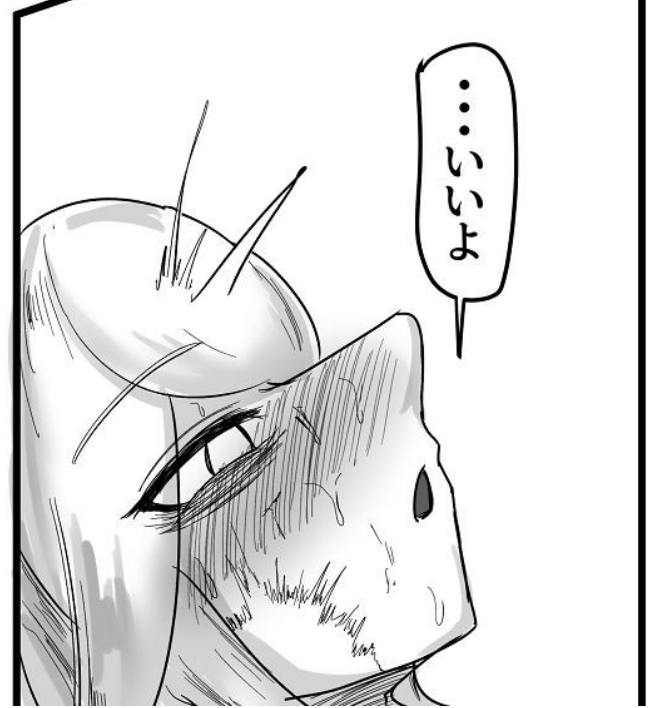
だや

ははは



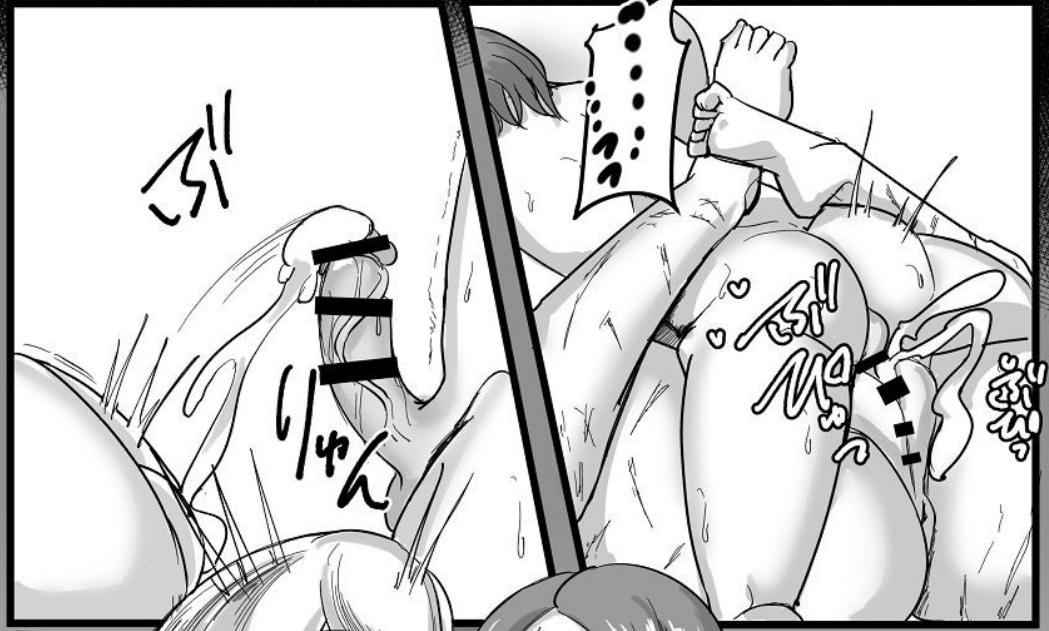
ははは

ああ、ダメっ
また出ちやうっつ



...んておはいい







…変だね
タイミングが

僕の名前はエリン



…君は？



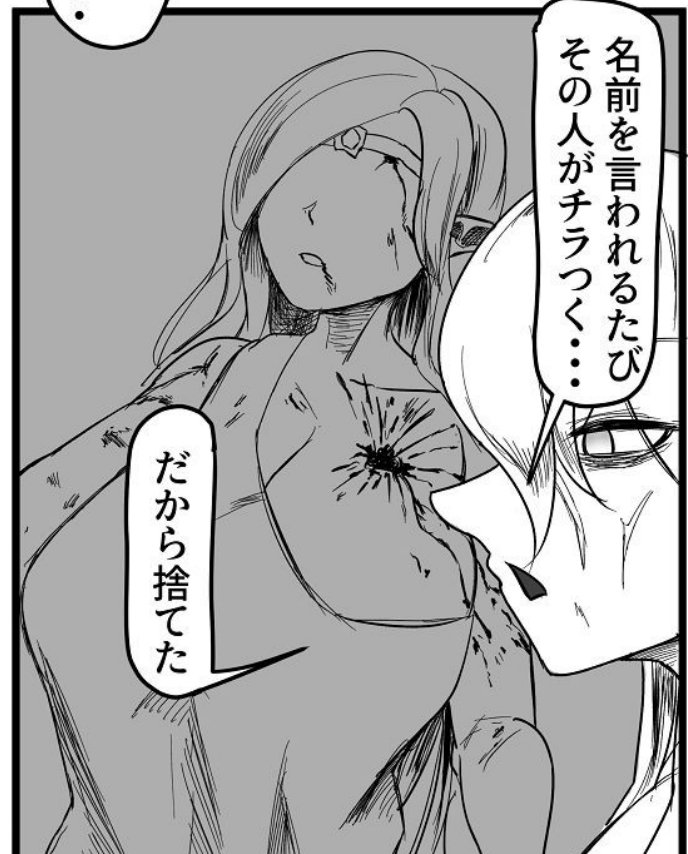
そういえば
お互いまだ名前
知らないね

今までずっと
バタバタしてたから



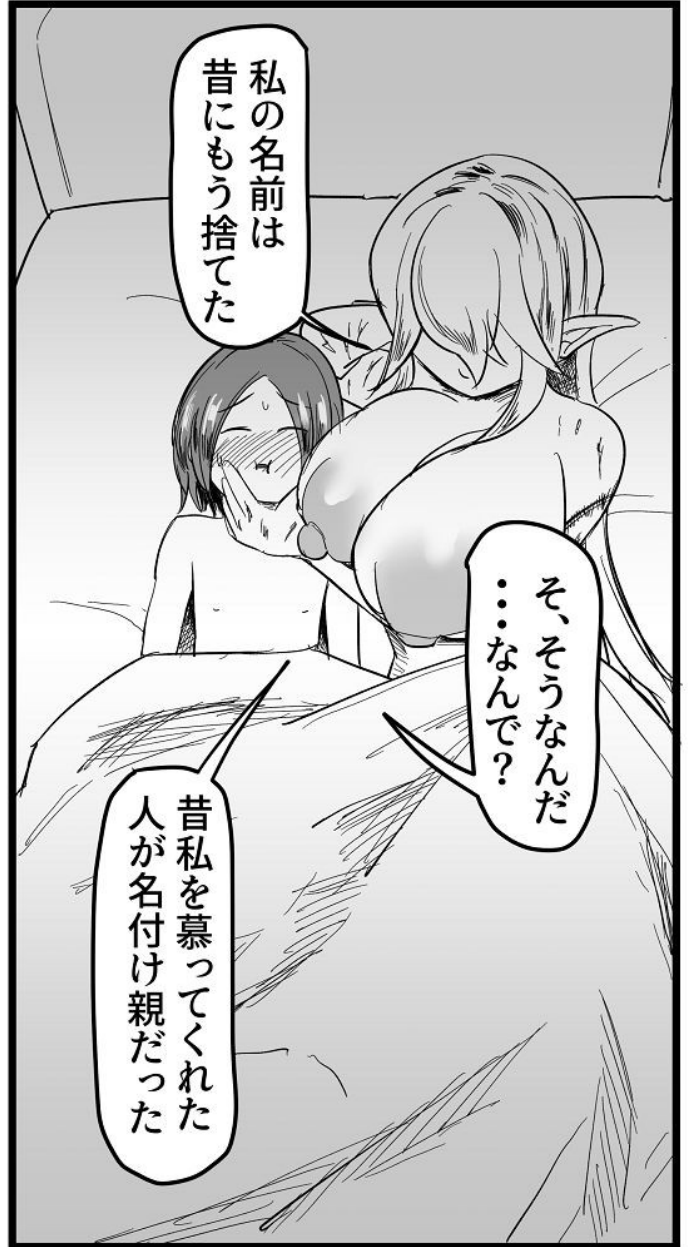
私が村にいなかった時に
エルフの迫害に遭って死んだ…

でもその人は…



だから捨てた

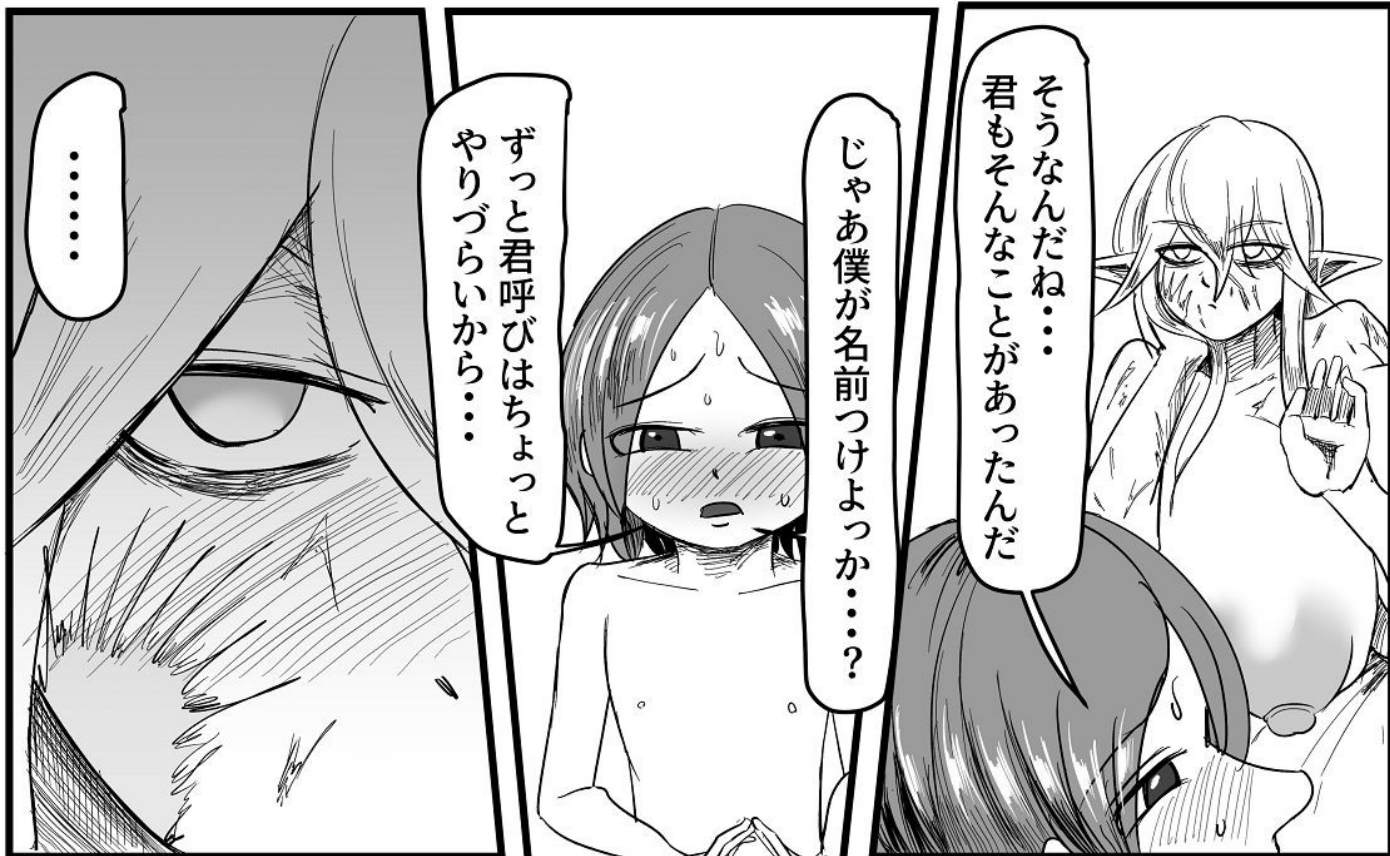
名前を言われるたび
その人がチラつく…



私の名前は
昔にもう捨てた

そ、そうなんだ
…なんで？

昔私を慕ってくれた
人が名付け親だった



.....

ずっと君呼びはちよっと
やりづらいから……

じゃあ僕が名前つけよっか……？

そうなんだね……
君もそんなことがあったんだ



え、いらないの？

って待っ……

彼女が僕に
名付けられるのは
また別のお話



いや必要ない



でもありがと

わっ

あとがき

ご購入いただきありがとうございました。

初コミケにもかかわらず70ページ近く描いてしまいました。
本当に完成するのかどうか不安でしたが、今この文章を読んでいただいているということは、無事に完成しているということでしょう。

究極シングルタスク人間ということもあり、自分のSNSの更新も愚かになってしまっていますが、また更新していこうと思います。

とりあえずコミケ参加して思ったことは・・・本当に疲れた!!
でもとてつもなく良い経験になったことは間違いないです。

改めてご購入していただきありがとうございました。

初コミケ
田中

